

第23回 肝炎対策推進協議会
3/27/2019

自治体事業指標, 拠点病院事業指標

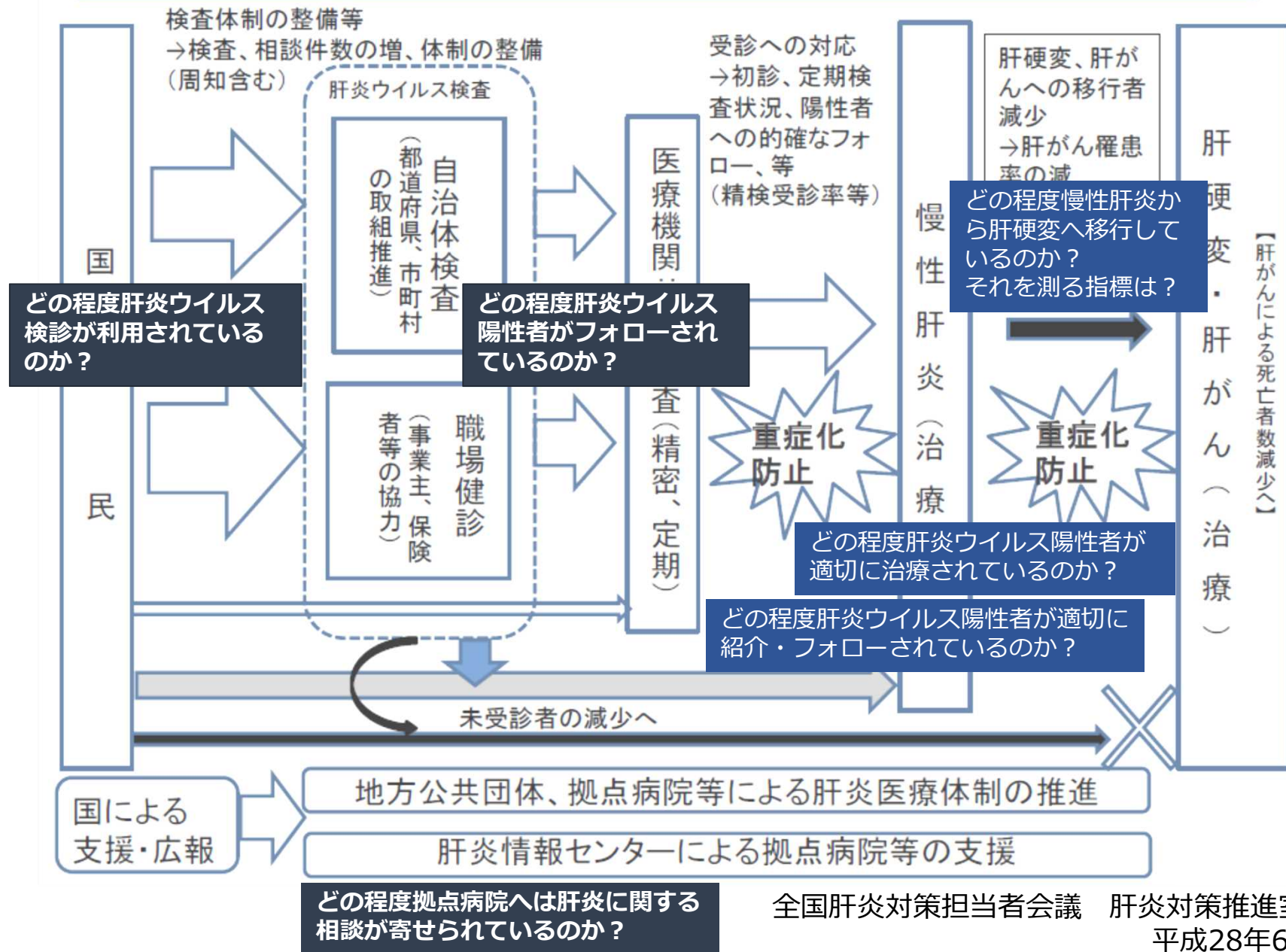
調査の暫定報告

—指標の効果的運用に向けて

平成29年肝炎等克服政策研究事業・指標班

島上 哲朗, 瀬戸山 博子, 田中 純子, 考藤 達哉

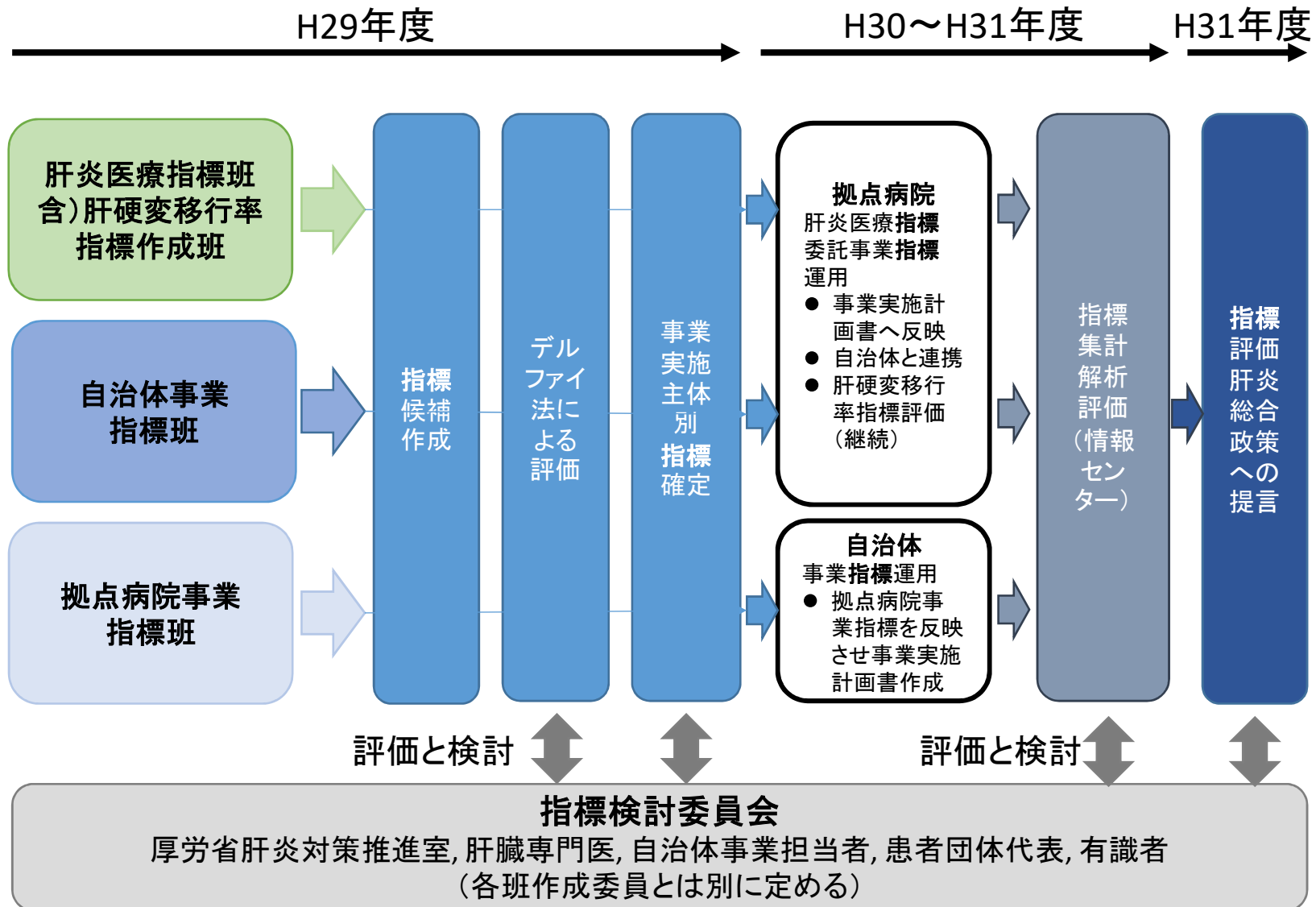
肝炎対策における取組目標と指標設定の考え方



指標班のミッション

- **肝炎医療指標の作成と運用**
- **自治体事業指標の作成と運用**
- **拠点病院事業指標の作成と運用**
- **臨床的肝硬変移行率指標の作成と検証**
- **国民調査の実施と基礎資料の提供**

肝炎医療指標, 自治体事業指標, 拠点病院事業指標の策定と運用



指標の考え方の整理

指標（分子/分母）とは：
事業改善のための目印として利用される数値表現
「プロセス」と「アウトカム」を扱う量的なツール

肝炎医療指標, 自治体事業指標, 拠点病院事業指標の作成と運用

(例) 自治体フォローアップ-2 (重要指標)

項目：都道府県別, フォローアップ事業実施市町村割合

$$\text{指標値} = \frac{\text{フォローアップ事業実施市町村}}{\text{市町村数}}$$

指標作成のプロセス（作業用シート）

指標作成の根拠
治療ガイドライン、
厚労省からの通知等

指標妥当性の評価点
5段階評価（5が最高）
の平均点（班員）

指標妥当性の評価点
の平均点（外部委員）

肝炎・ 肝硬変	指標番号 (新)	項目	分子	分母	根拠	対象	方法	作成 者	備考	指標の妥当 性	ご意見	ご意見（外部評価者）	指標の妥当性 （外部評価平 均点）	会議当日再 評価	重み付
	診断指標														
	肝炎-2	日常診療に肝線維化指標を用いている	日常診療に非侵襲的肝線維化診断を用いている患者数	B型肝炎、C型肝炎患者数	肝臓学会「B型肝炎治療ガイドライン」「C型肝炎治療ガイドライン」	拠点病院 医師	アンケート方式	板倉	「日常診療」とは、入院、外来の際に評価し、必要時には患者への説明も実施すること。「非侵襲的肝線維化診断法」とは、APRI、FIB-4などの線維化指数やフィブrosキャンなどの超音波線	4.67	肝生検、肝線維化指標、フィブrosキャンいずれかによる肝線維化診断を行っているかどうかの方がよいように思われます。(3) M2BPGIを含む血清学的線維化指標、画像による肝硬度測定をしているとしたほうがよいと考えます(2)。分子の項目は評価者3のご意見に準じたほうが良いように思います。	血清学的検査による肝線維化指標よりもフィブrosキャンなど非侵襲的画像検査の方が直接的で正確である(4)。拠点病院が対象であることを考えた場合、フィブrosキャン、MEエラストグラフィ、肝生検などが肝線維化の指標となるべきと考えます。(5)	3.75	4.25	絶対
	肝炎-3	日常診療にChild-Pughスコアを用いている	日常診療にChild-Pughスコアを用いている患者数	B型肝炎、C型肝炎 肝硬変患者数	肝臓学会「B型肝炎治療ガイドライン」「C型肝炎治療ガイドライン」	拠点病院 医師	アンケート方式	考藤	同上。「肝硬変」の診断は施設の専門医による診断に委ねる	4.67	Child PughあるいはMELDスコアとしてはいかがでしょうか(2)	Child-Pughスコアは肝硬変患者に対するスコアなので、分母を肝硬変患者に限定するべきである(4)。評価者(2)の方に賛成です。(5)	4.00	4.25	絶対
	肝炎-4	画像診断を定期的実施している	画像検査(US/CT/MRI)を病状に応じて定期的実施している患者数	B型肝炎、C型肝炎 患者数	肝臓学会「B型肝炎治療ガイドライン」「C型肝炎治療ガイドライン」	拠点病院 医師	アンケート方式	板倉	「病状に応じて」施設基準を設けて実施していること(肝臓学会ガイドライン準拠)	4.67	定期的に定義が必要と思われます。(3)	「最低約6ヶ月毎に」とする方が指標として有用と思われる(4)。評価者(3)の方も指摘していますが、具体的な機関があっても良いかもしれません。(5)	4.75	4.83	絶対
	肝炎-5	腫瘍マーカーを定期的測定している	AFP/PIVKA-IIを病状に応じて定期的測定している患者数	B型肝炎、C型肝炎 患者数	肝臓学会「B型肝炎治療ガイドライン」「C型肝炎治療ガイドライン」	拠点病院 医師	アンケート方式	板倉	同上	4.83		「最低約6ヶ月毎に」とする方が指標として有用と思われる(4)。異論のないところです。(5)	4.75	4.83	絶対
追加	肝炎-6	肝炎ウイルス陽性者受診勧奨(電子カルテによる陽性者アラートシステム)	電子カルテを用いた肝炎ウイルス陽性者アラートシステムを導入している		「手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果の説明について」(厚生労働省健康局疾病対策科長通知 健疾発0423第1号)	拠点病院 医師等	拠点病院 現状調査		導入している=1, 導入していない=0			手入力で作業する場合を含むと追記しても良いかもしれません。(5) まずアラートシステムを導入しているかどうかを優先して評価されるべきと思われます。(11)		4.50	標準

指標妥当性の評価点の平均点
(班員と外部委員) 討議後に再集計
コンセンサス形成を目指す

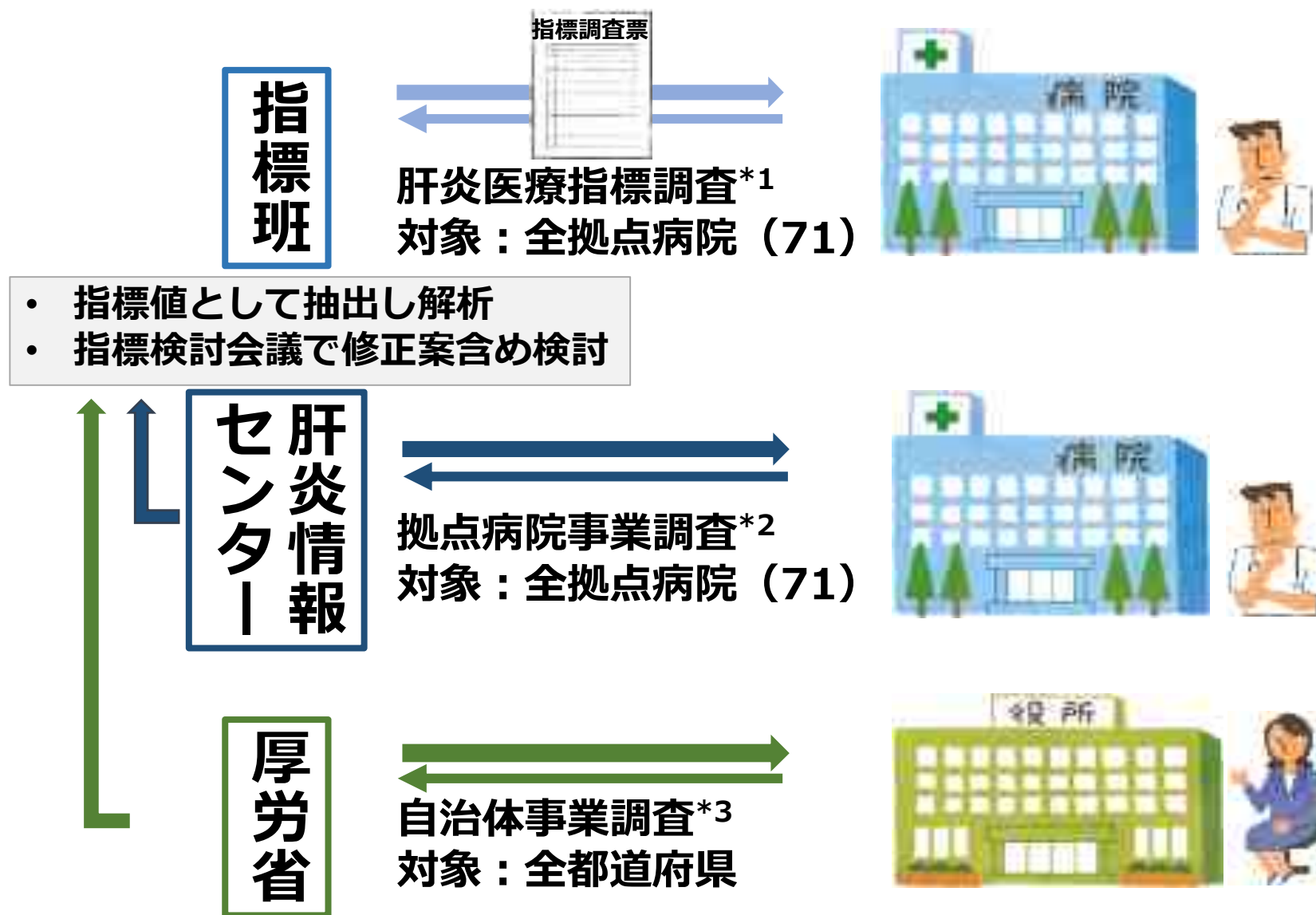
H29年度指標班：指標候補検討委員会で作成
平成27年12月19日

H29年度作成, 事業主体別指標 (抄)

指標(分子/分母)とは: 事業改善のための目印として利用される数値表現, 「プロセス」と「アウトカム」を扱う量的なツール
 肝炎医療: **32**指標、自治体事業: **26**指標、拠点病院事業: **21**指標を確定

	項目	分子	分母	根拠	対象
肝炎-1	肝線維化指標の使用	日常診療に非侵襲的肝線維化診断を用いている患者数	B型肝炎、C型肝炎患者数	肝臓学会「B型肝炎治療ガイドライン」「C型肝炎治療ガイドライン」	拠点病院医師
肝炎-5	肝炎ウイルス陽性者受診勧奨(電子カルテによる陽性者アラートシステム)	電子カルテを用いた肝炎ウイルス陽性者アラートシステムを導入している(導入している=1, 導入していない=0)	定数=1	「手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果の説明について」(厚生労働省健康局疾病対策科長通知健疾発0423第1号)	拠点病院現状調査
肝炎-11	初回DAA治療失敗例に対する2回目以降DAA治療前のRAS検査を実施している	治療開始前にHCVRAS検査を実施した人	C型肝炎(肝硬変)患者でDAA治療を受けた人	肝臓学会「C型肝炎治療ガイドライン」	拠点病院医師
自治体検診-8	都道府県別、肝炎ウイルス検査陽性時精検受診率(特定感染症検査等事業分-保健所分及び委託医療機関別、健康増進事業分)	初回精密検査受診者数(特定感染症検査等事業分-保健所分及び委託医療機関別、健康増進事業分)	HCV抗体陽性者数、HBs抗原陽性者数(特定感染症検査等事業分-保健所分及び委託医療機関別、健康増進事業分)	健康増進事業、特定感染症検査等事業	各都道府県毎に把握
自治体フォローアップ-4	肝炎ウイルス陽性者受診率	肝炎ウイルス陽性者の指定医療機関受診者数	肝炎ウイルス検査陽性でフォローアップ事業同意者数	健康増進事業、重症化予防推進事業	自治体調査票
自治体施策-7	肝炎医療コーディネーター配置状況(配置場所別)	少なくとも1人の肝炎医療コーディネーターが配置されている拠点病院数	肝疾患診療連携拠点病院数	肝炎医療コーディネーターの養成及び活用について(2017年4月25日健発0425第4号厚生労働省健康局長通知)	自治体調査
拠点-3	肝疾患相談支援センター相談件数	相談件数(総数)	定数=1	肝炎患者等支援対策事業実施要綱	拠点病院現状調査 7

H30肝炎医療指標, 事業指標の調査



*1指標班により調査：平成30年4月～9月, *2肝炎情報センターにより調査：平成30年6月～7月
*3肝炎対策推進室により調査：平成30年6月～9月

自治体指標の整理と重み付け

基本的な考え方

- 指標とは実施主体の取組状況を全国の中で評価し、実施主体に取組の改善を促すものであることから、全国単位とされている指標は**自治体単位**に修正する
- 指標は肝炎対策実施自治体の数値目標としての位置付けではなく、自治体の肝炎対策の**取組促進に活用されるもの**と位置付ける

指標の重み付け

- **重要指標**
各実施主体における肝炎対策の実施・達成状況を評価し、取組促進に活用することが重要な指標
(基本法および基本指針, 通知に記載があるもの等)
- **標準指標**
各実施主体における肝炎対策の実施・達成状況を評価し、取組促進に活用することを標準とする指標
(指標1の根拠となるもの以外に、自治体調査等で求める項目など)
- **参考指標**
各実施主体の特色に併せて取組促進のために活用してもよい指標
(根拠となる通知がないもの、各自治体が独自に取り組む項目等)

自治体事業指標（検診1～7, フォローアップ1～3）

H29年度作成した自治体事業指標（26）をH30年度運用する指標（19）に整理

自治体事業指標 案（検診1～7）

重み	指標番号	項目	分子	分母	備考
重要	自治体検診-1	都道府県別、肝炎ウイルス検診実施市町村の割合（健康増進事業）	肝炎ウイルス検診実施市町村数	市町村数	
重要	自治体検診-2	都道府県別、40歳以上人口10万人当たりの肝炎ウイルス検診受検率（健康増進事業分）	肝炎ウイルス検査受検者数（健康増進事業分）	40歳以上人口10万人	
重要	自治体検診-3	都道府県別、成人10万人当たりの肝炎ウイルス検査受検率（特定感染症検査等事業分）	肝炎ウイルス検査受検者数（特定感染症検査等事業分）	成人人口10万人	
標準	自治体検診-4	都道府県別、人口10万人当たりの肝臓罹患率（年齢調整つきも含む）	肝臓罹患患者数	人口10万人	
標準	自治体検診-5	都道府県別、人口10万人当たりの肝臓死亡率	肝臓による死亡者数	人口10万人	
参考	自治体検診-6	都道府県別、B型肝炎核酸アナログ製剤治療助成受給率	核酸アナログ製剤治療助成受給者数	平成28年度NDB実態調査（伊藤班）による平成27年度B型肝炎治療患者数（肝炎、代償性・非代償性肝硬変）	
参考	自治体検診-7	都道府県別、C型肝炎インターフェロンフリー治療助成受給率	インターフェロンフリー治療助成受給者数	平成28年度NDB実態調査（伊藤班）による平成27年度C型肝炎治療患者数（肝炎、代償性肝硬変）	

自治体事業指標 案（フォローアップ1～3）

重み	指標番号	項目	分子	分母	備考
重要	自治体フォローアップ-1	都道府県別、成人10万人当たりの初回精密検査費用助成受給率	初回精密検査助成受給者数	成人人口10万人	
重要	自治体フォローアップ-2	都道府県別、フォローアップ事業実施市町村の割合	フォローアップ事業実施市町村数	市町村数	
重要	自治体フォローアップ-3	都道府県別、成人10万人当たりの定期検査費用助成受給率	都道府県別、定期検査費用助成受給者数	成人人口10万人	

自治体事業指標（施策1～9）

自治体事業指標 案（施策1～9）

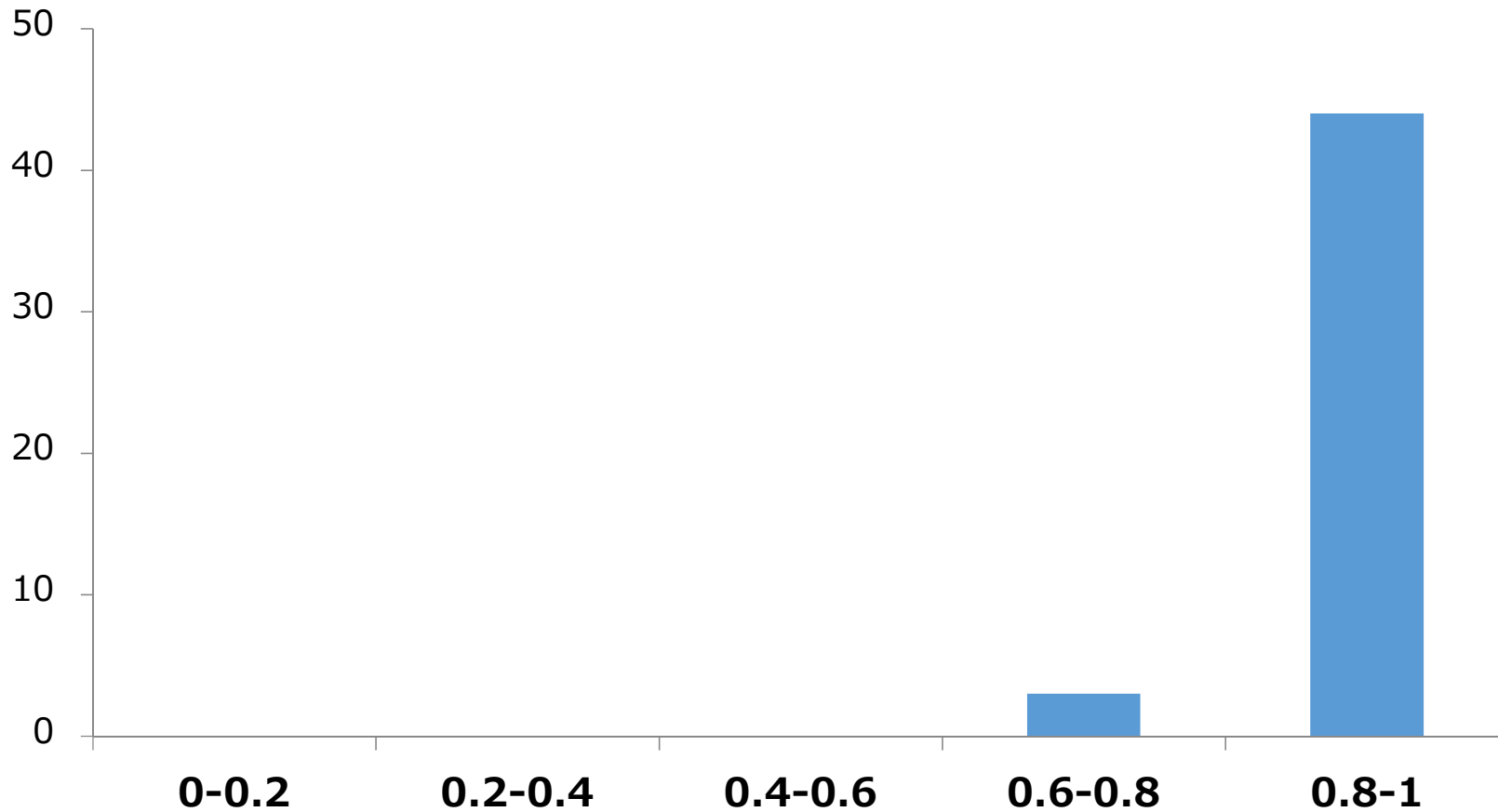
重み	指標番号	項目	分子	分母	備考
重要	自治体施策-1	肝炎対策にかかる計画・数値目標策定の有無			策定している=1, 策定していない=0
重要	自治体施策-2	肝炎対策協議会の開催の有無			開催している=1, 開催していない=0
重要	自治体施策-3	都道府県別、人口10万人当たりの肝炎医療コーディネーター養成人数(累積)	肝炎医療コーディネーター養成人数(累積)	成人人口10万人	
重要	自治体施策-4	都道府県別、人口10万人当たりの肝炎医療コーディネーター養成人数(新規)	肝炎医療コーディネーター養成人数(新規)	成人人口10万人	
参考	自治体施策-5	自治体が実施する肝炎医療コーディネーター資格更新の有無			有り=1, 無し=0
参考	自治体施策-6	都道府県別、肝炎医療コーディネーター配置状況(配置場所別)	少なくとも1人の肝炎医療コーディネーターが配置されている肝炎患診療連携拠点病院数	肝炎患診療連携拠点病院数	
参考	自治体施策-7	都道府県別、肝炎医療コーディネーター配置状況(配置場所別)	少なくとも1人の肝炎医療コーディネーターが配置されている肝炎患専門医療機関数	肝炎患専門医療機関数	
参考	自治体施策-8	都道府県別、肝炎医療コーディネーター配置状況(配置場所別)	少なくとも1人の肝炎医療コーディネーターが配置されている保健所数	保健所数	
参考	自治体施策-9	都道府県別、肝炎医療コーディネーター配置状況(配置場所別)	少なくとも1人の肝炎医療コーディネーターが自治体(市町村)肝炎対策部署に配置されている市町村数	市町村数	

H29作成自治体事業指標からH30運用指標への整理の原則（26指標から19指標へ）

- 既に全自治体で実施済みの事業指標は削除（例. 肝炎ウイルス検査実施都道府県の割合）
- 実数把握が困難な指標は削除（例. 妊婦健診肝炎ウイルス検査結果を把握している市町村割合）
- 行政施策の内容でないものは削除（例. 都道府県別肝炎ウイルス検査陽性率）
- B型・C型肝炎抗ウイルス治療助成受給率は追加

自治体検診－1 都道府県別, 肝炎ウイルス検診 実施市町村の割合 (健康増進事業)

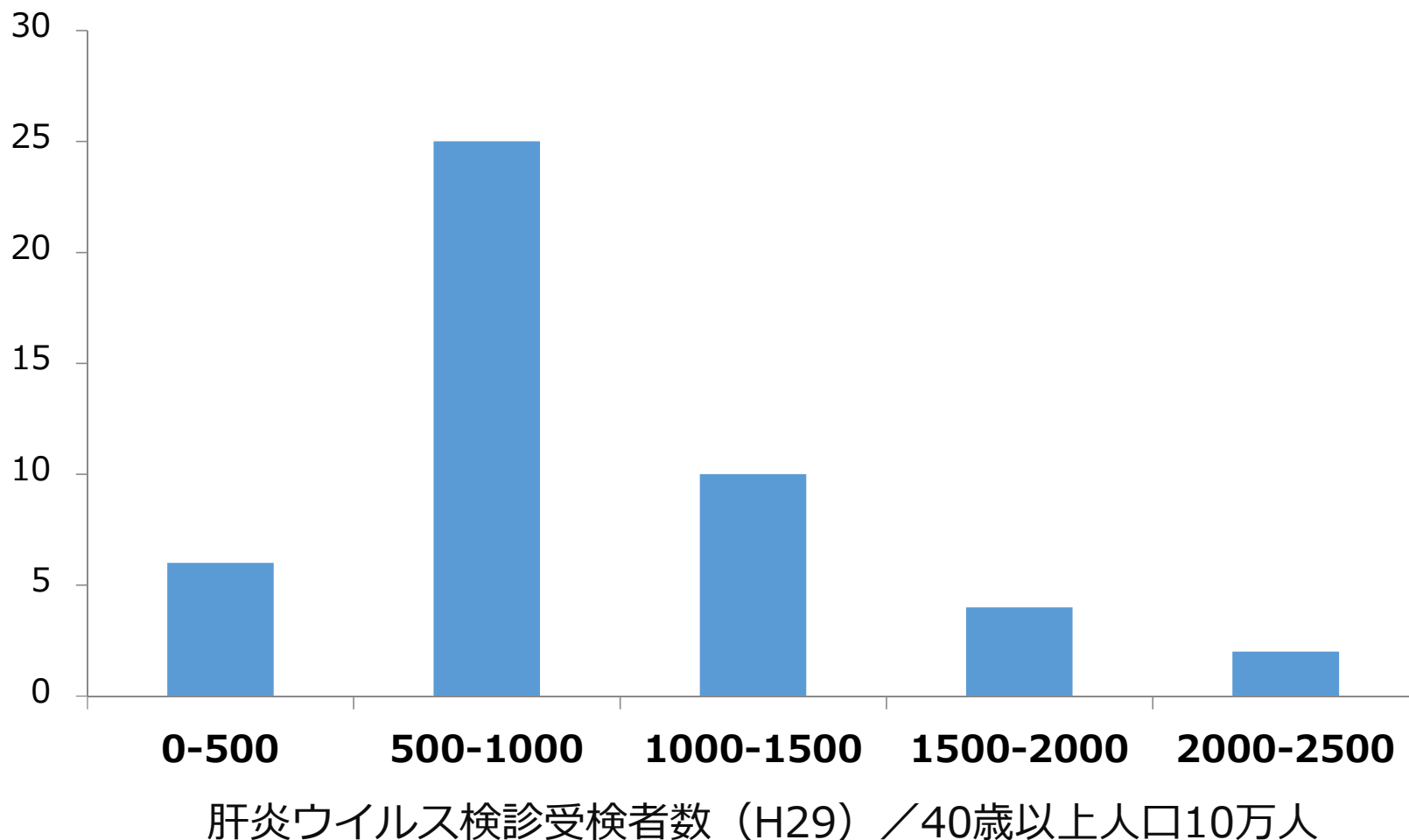
都道府県数



都道府県別 : 実施市町村区数 / 全市町村区数 (H29)

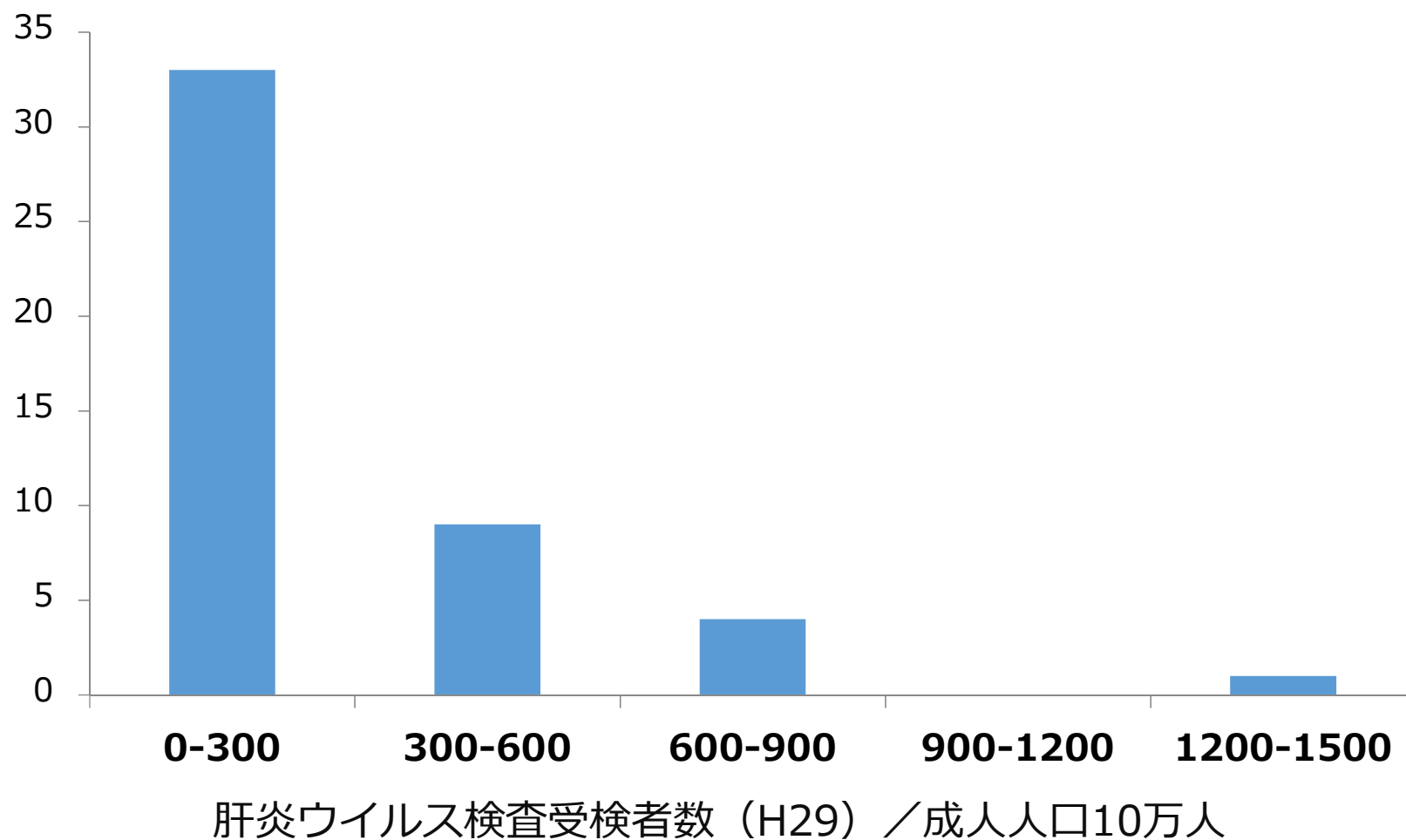
自治体検診－ 2 都道府県別, 40歳以上人口10万人 当たりの肝炎ウイルス検診受検率（健康増進事業分）

都道府県数

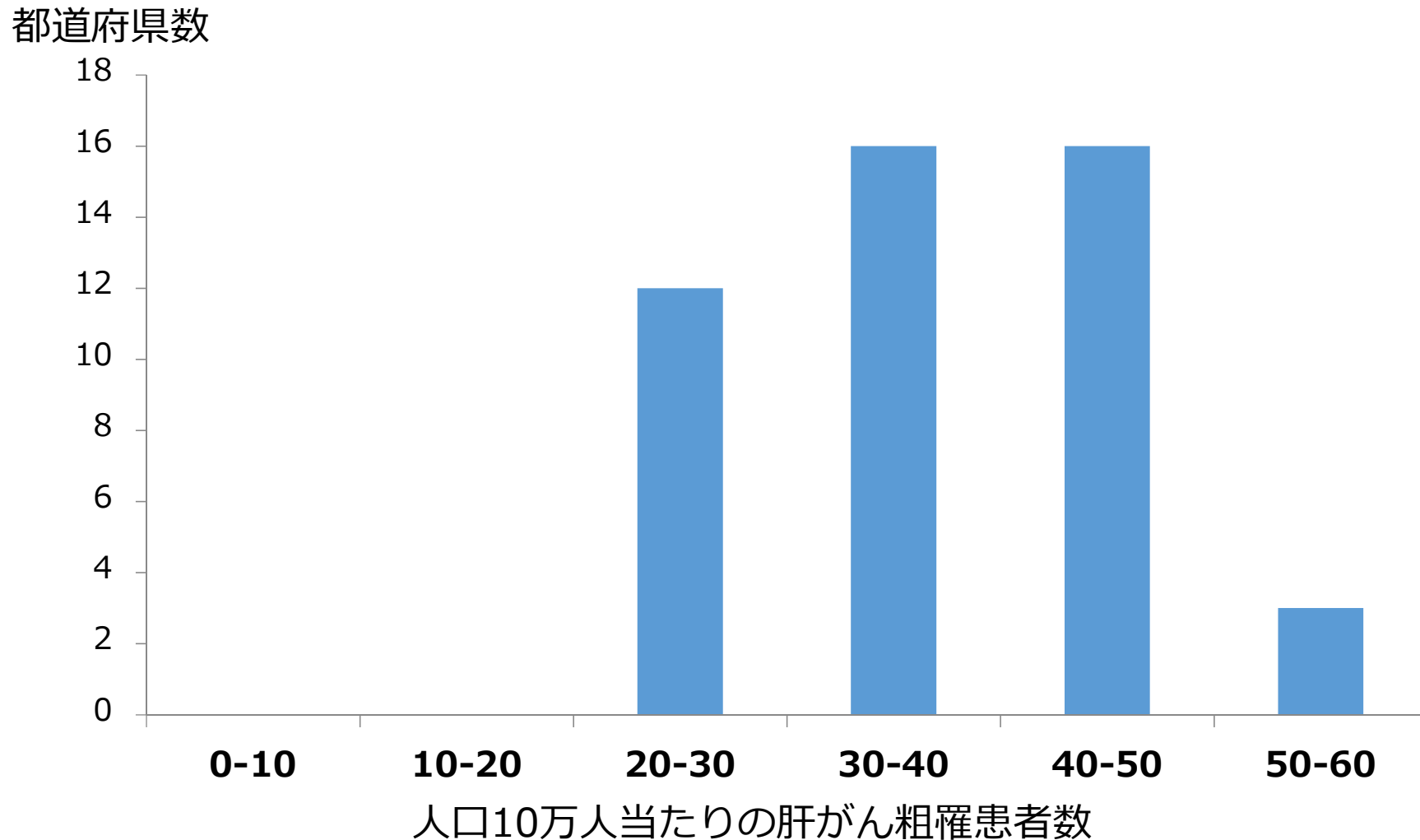


自治体検診－3 都道府県別, 成人10万人当たりの 肝炎ウイルス検診受検率 (特定感染症検査等事業分)

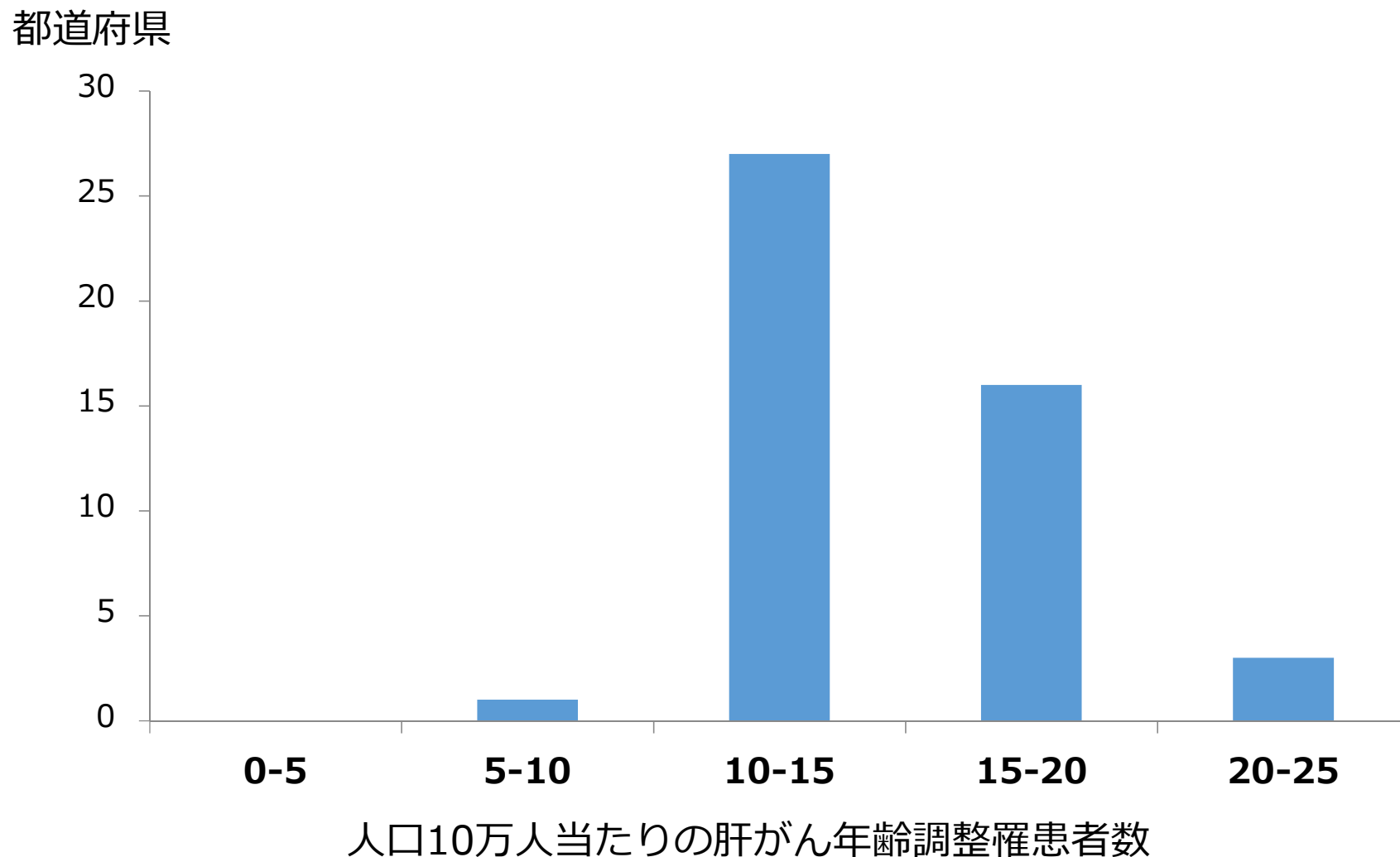
都道府県



自治体検診－４ 都道府県別, 人口10万人当たりの 肝がん罹患率 (肝がん粗罹患率)

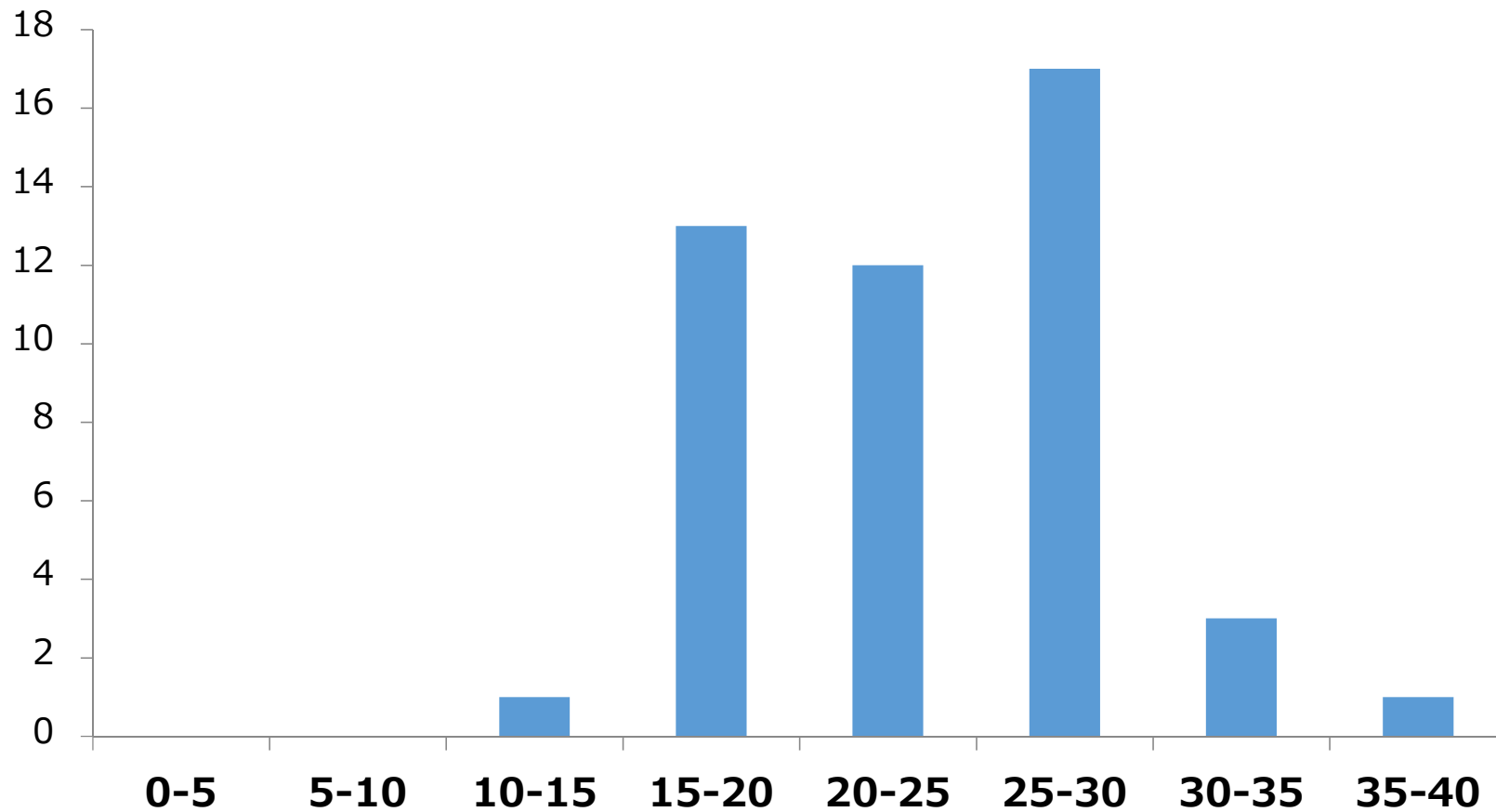


自治体検診－4 都道府県別, 人口10万人当たりの 肝がん罹患率 (年齢調整肝がん粗罹患率)



自治体検診－5 都道府県別, 人口10万人当たりの 肝がん死亡率（粗死亡率）

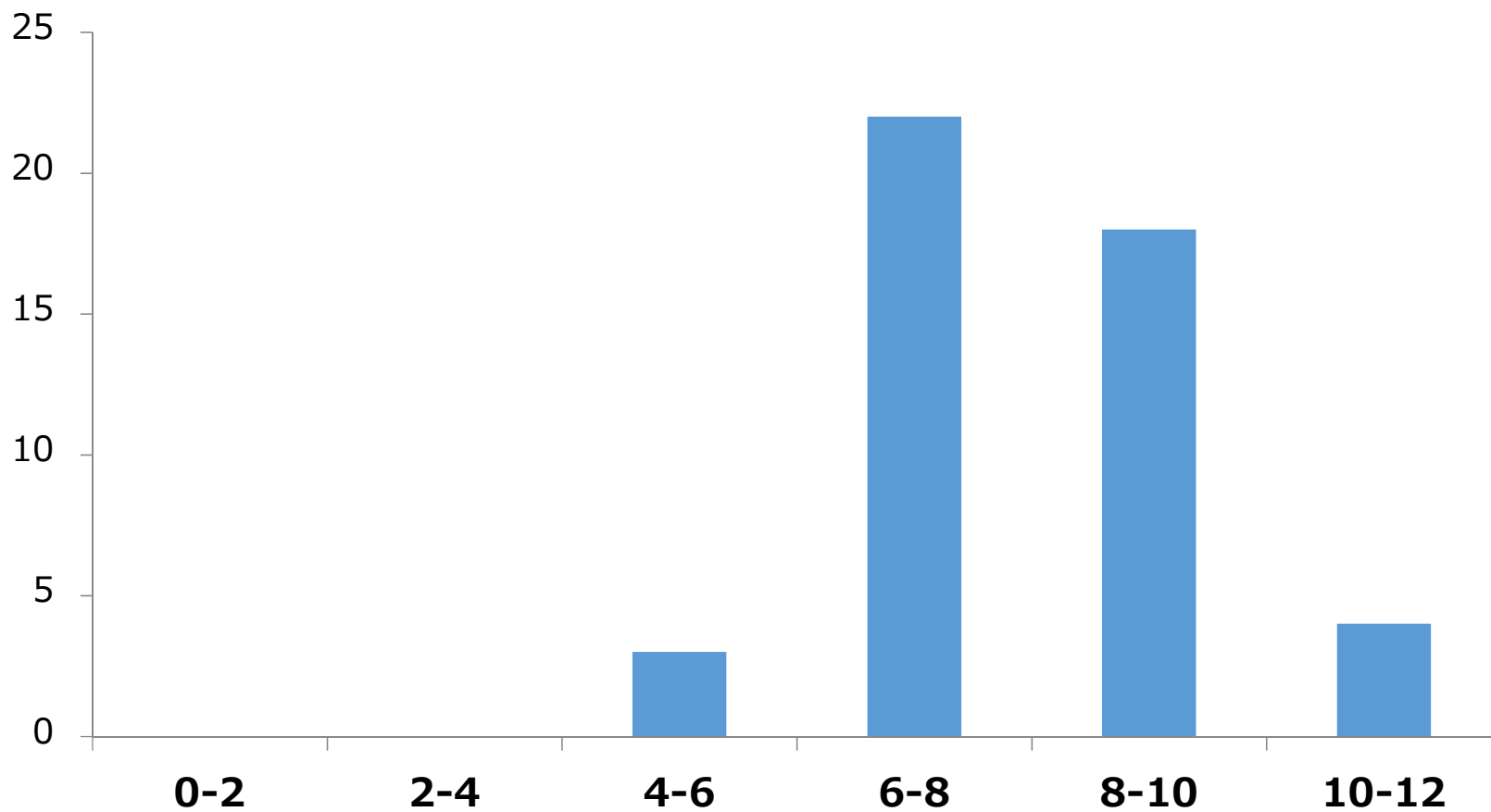
都道府県数



人口10万人当たりの肝がん粗死亡者数 (H29)

自治体検診－5 都道府県別, 人口10万人当たりの 肝がん死亡率（年齢調整死亡率）

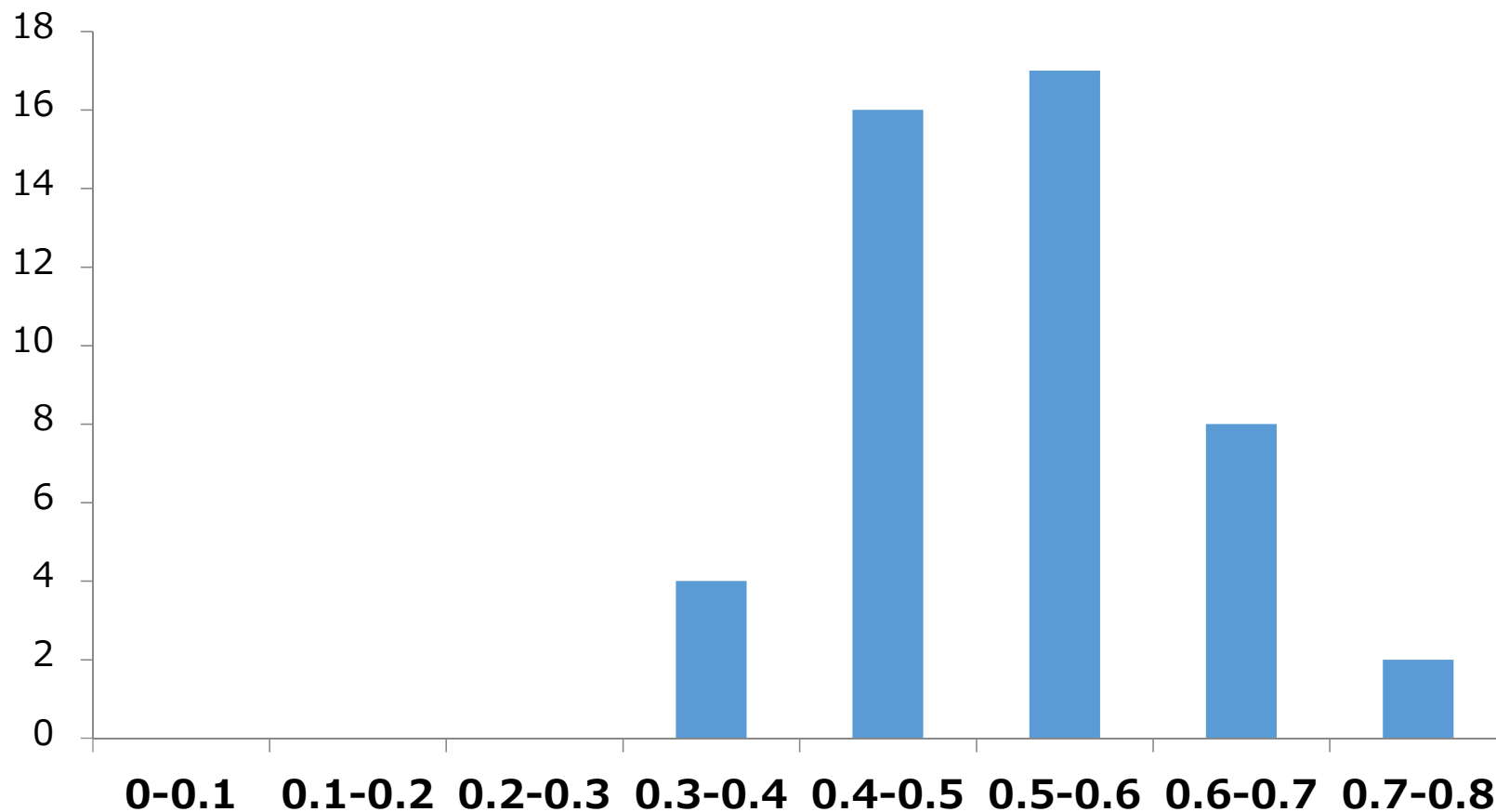
都道府県数



人口10万人当たりの肝がん年齢調整死亡者数（H29）

自治体検診－6 都道府県別, B型肝炎 核酸アナログ製剤治療助成受給率

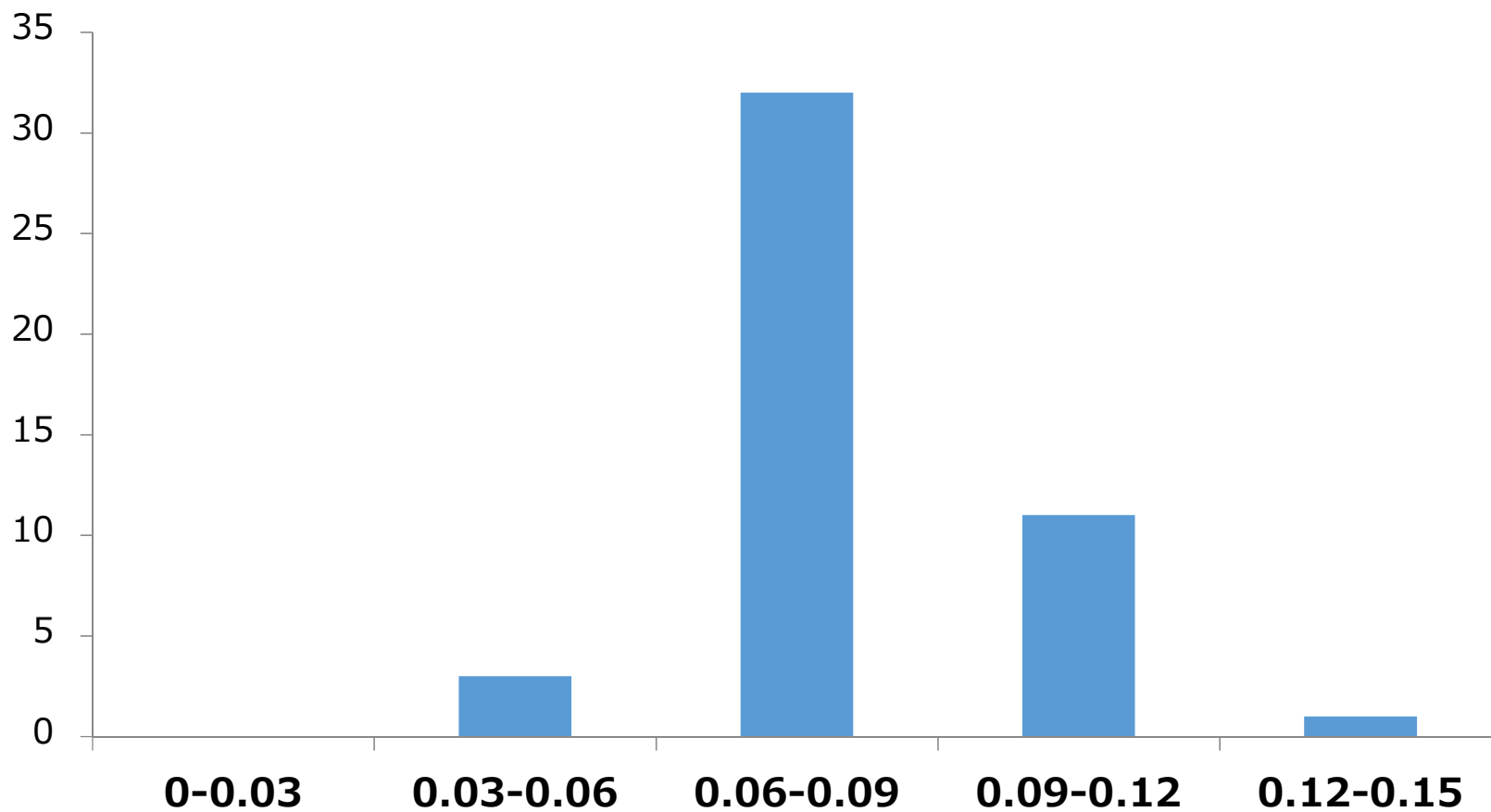
都道府県数



核酸アナログ製剤治療助成受給者数 (H29) / HBV関連治療患者 (がんは除く) (H27)

自治体検診－7 都道府県別, C型肝炎 インターフェロンフリー治療助成受給率

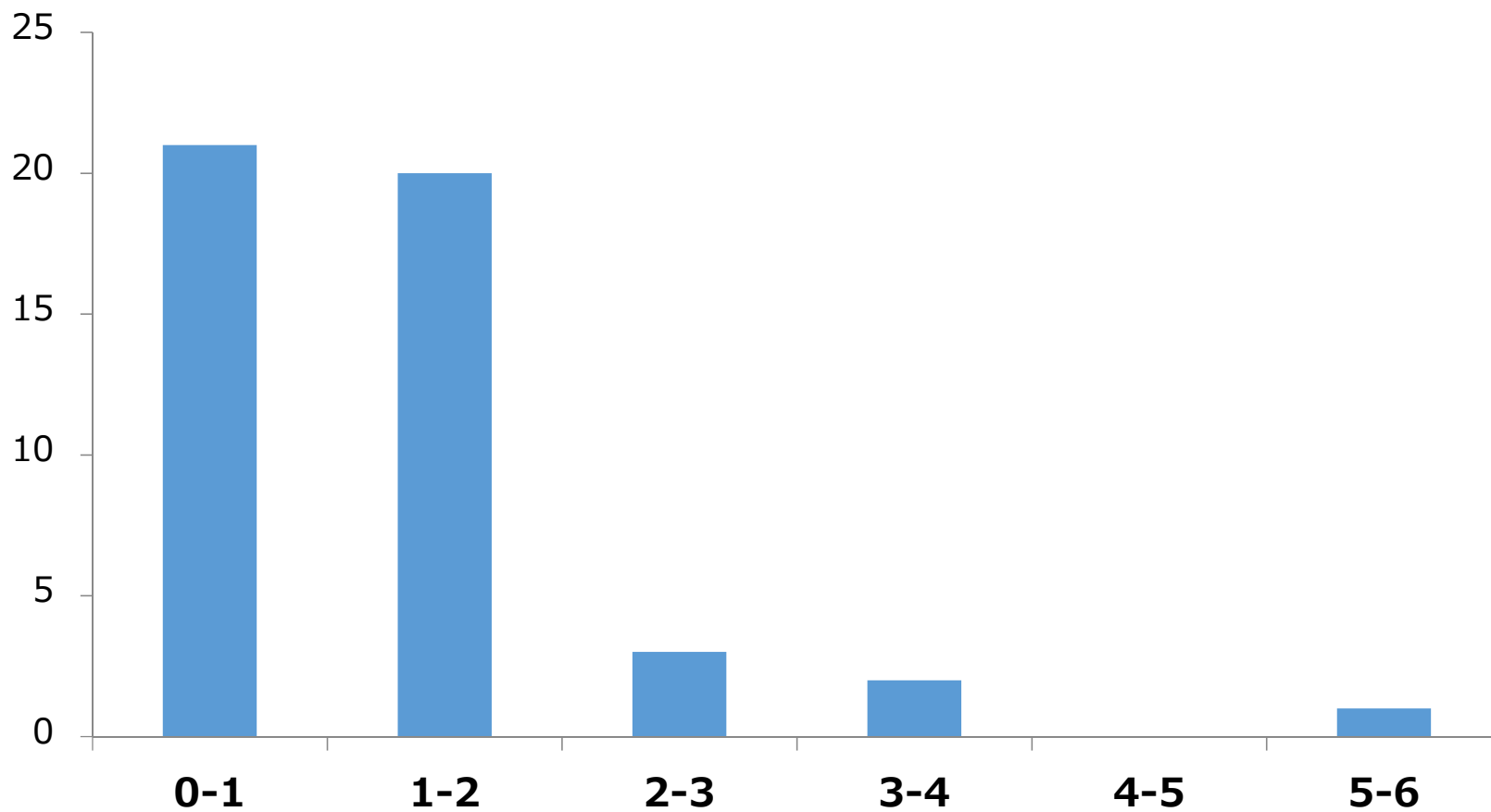
都道府県数



インターフェロンフリー治療助成受給者数 (H29) / HCV関連治療患者 (非代償, がんは除く) (H27)

自治体フォローアップ-1 都道府県別, 成人10万人当たりの 初回精密検査費用助成受給率

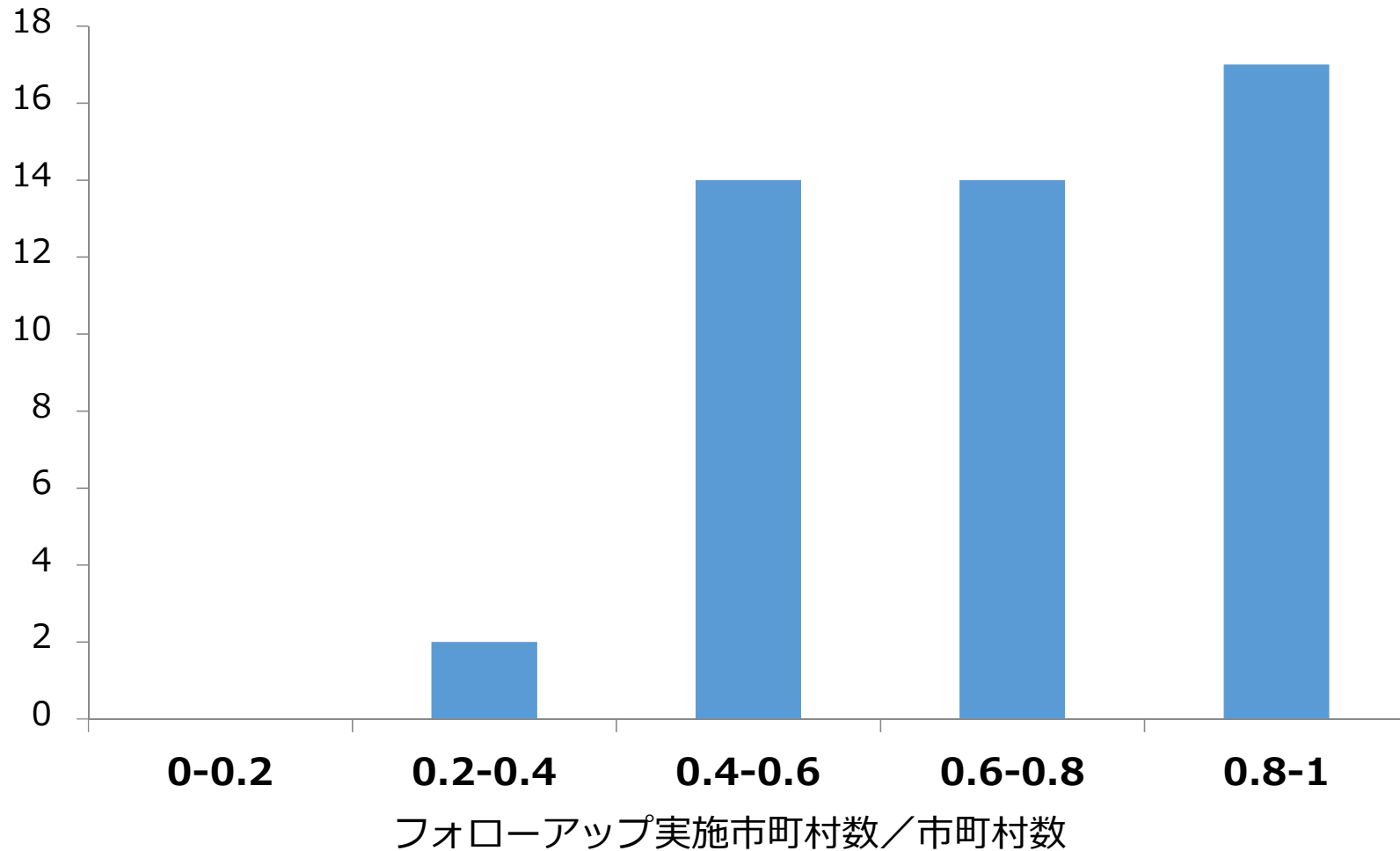
都道府県数



初回精密検査助成受給者数 (H29) / 成人人口10万人

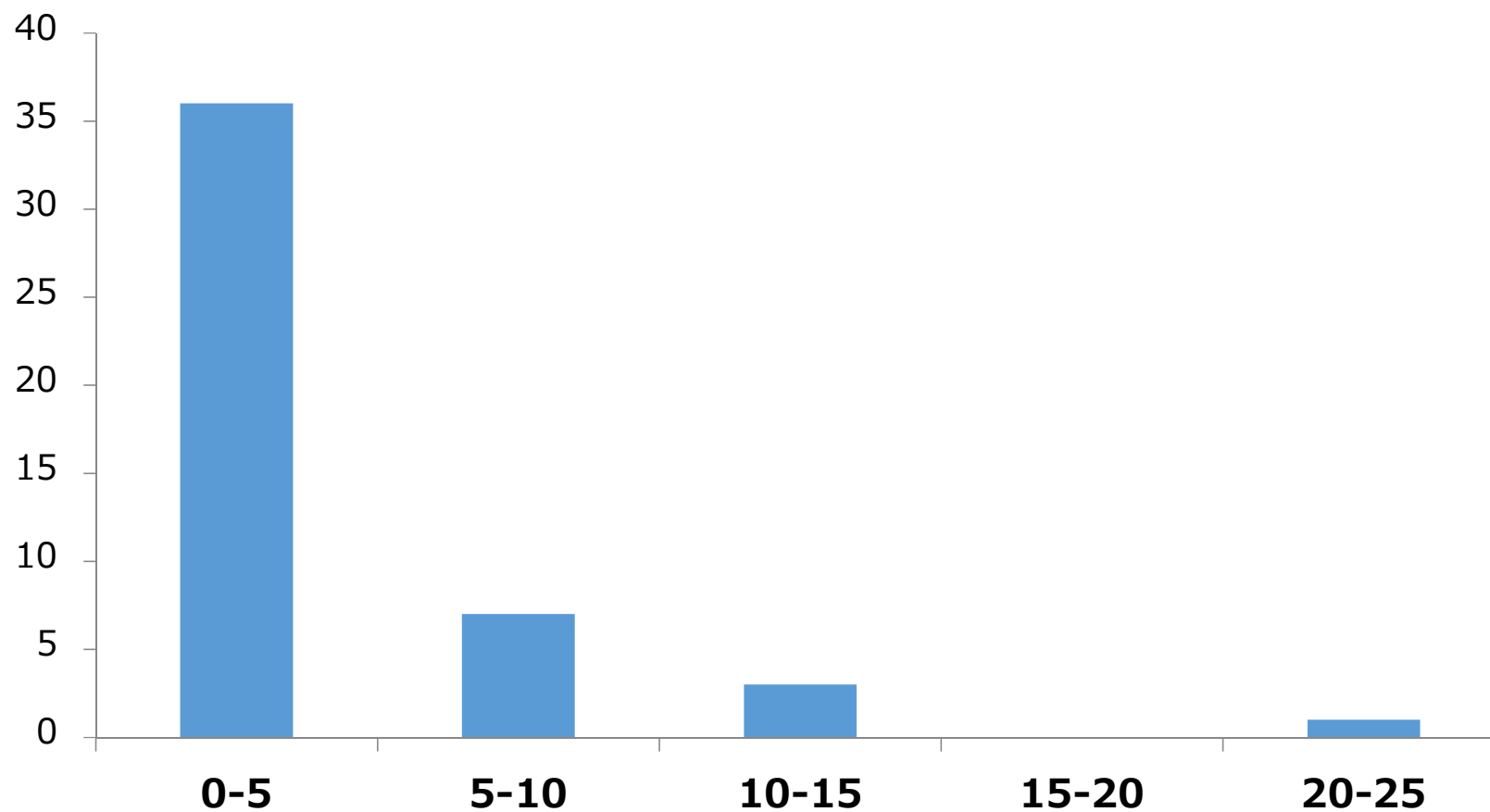
自治体フォローアップ-2 都道府県別, フォローアップ事業実施市町村の割合（健康増進事業分）

都道府県数



自治体フォローアップ-3 都道府県別, 成人10万人当たりの定期検査費用助成受給率

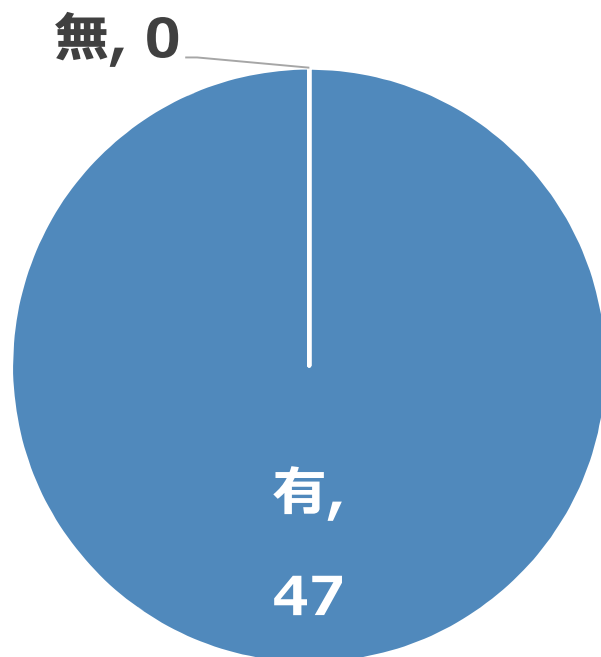
都道府県数



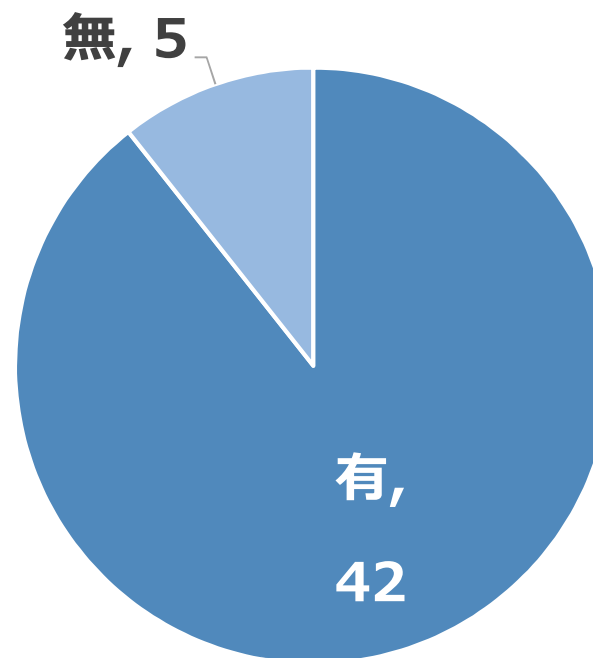
定期検査費用助成受給者数 (H29) / 成人人口10万人

自治体施策－1 都道府県別、 肝炎対策にかかる計画・数値目標策定の有無（H29）

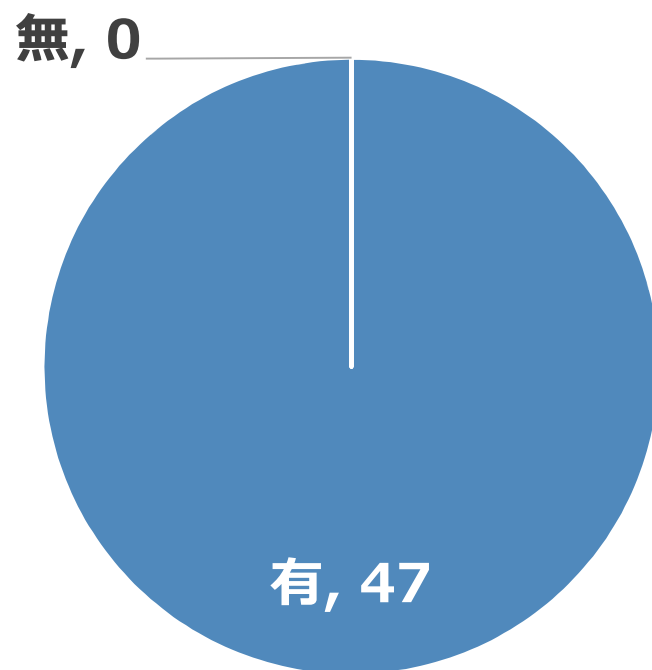
肝炎対策にかかる**計画策定**の
有無（H29），都道府県別



肝炎対策にかかる**数値目標策定**の
有無（H29），都道府県別

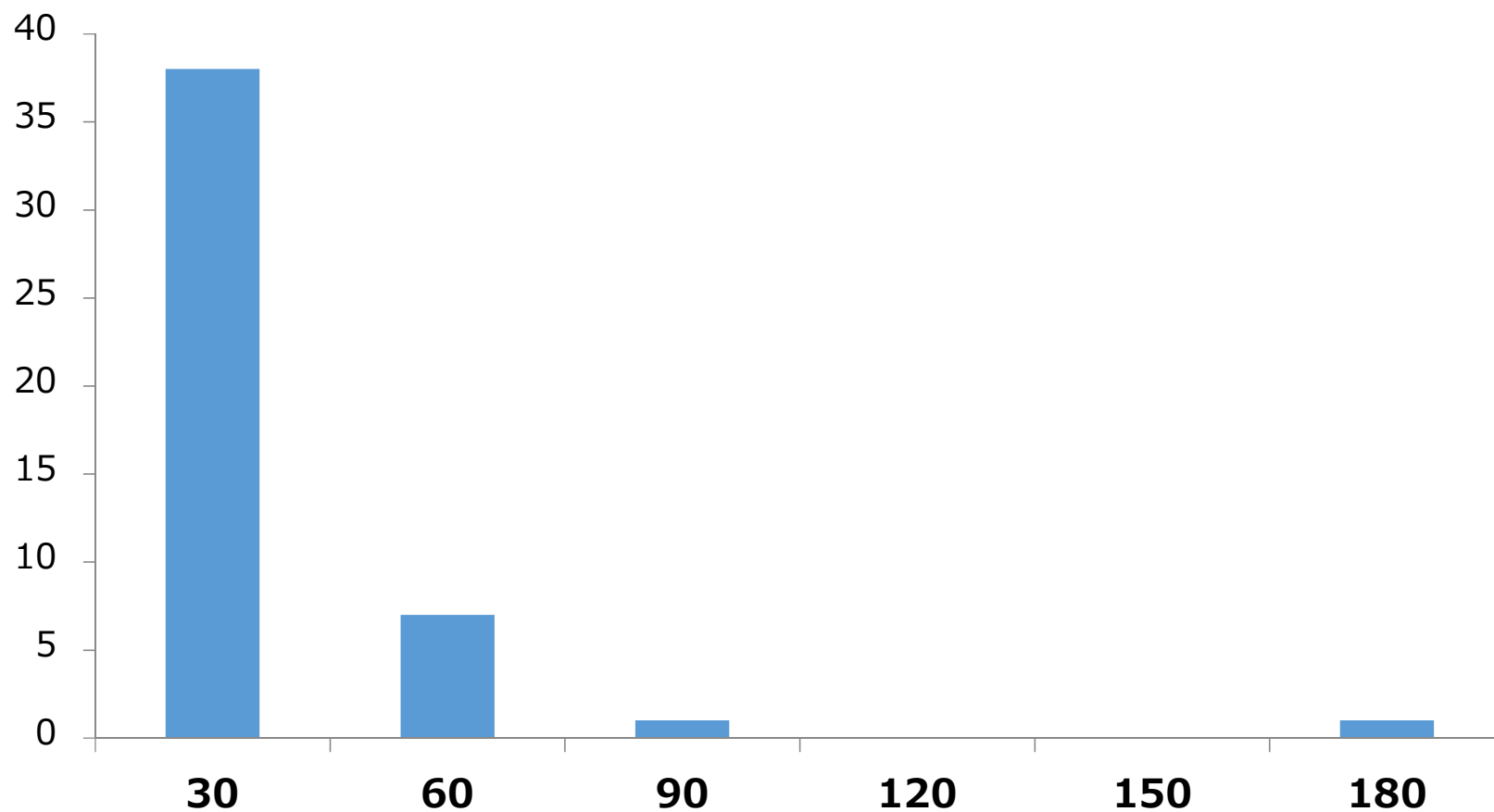


自治体施策－２ 都道府県別、 肝炎対策協議会の開催の有無（H29）



自治体施策－3 都道府県別, 成人10万人当たりの コーディネーター養成人数（累積）

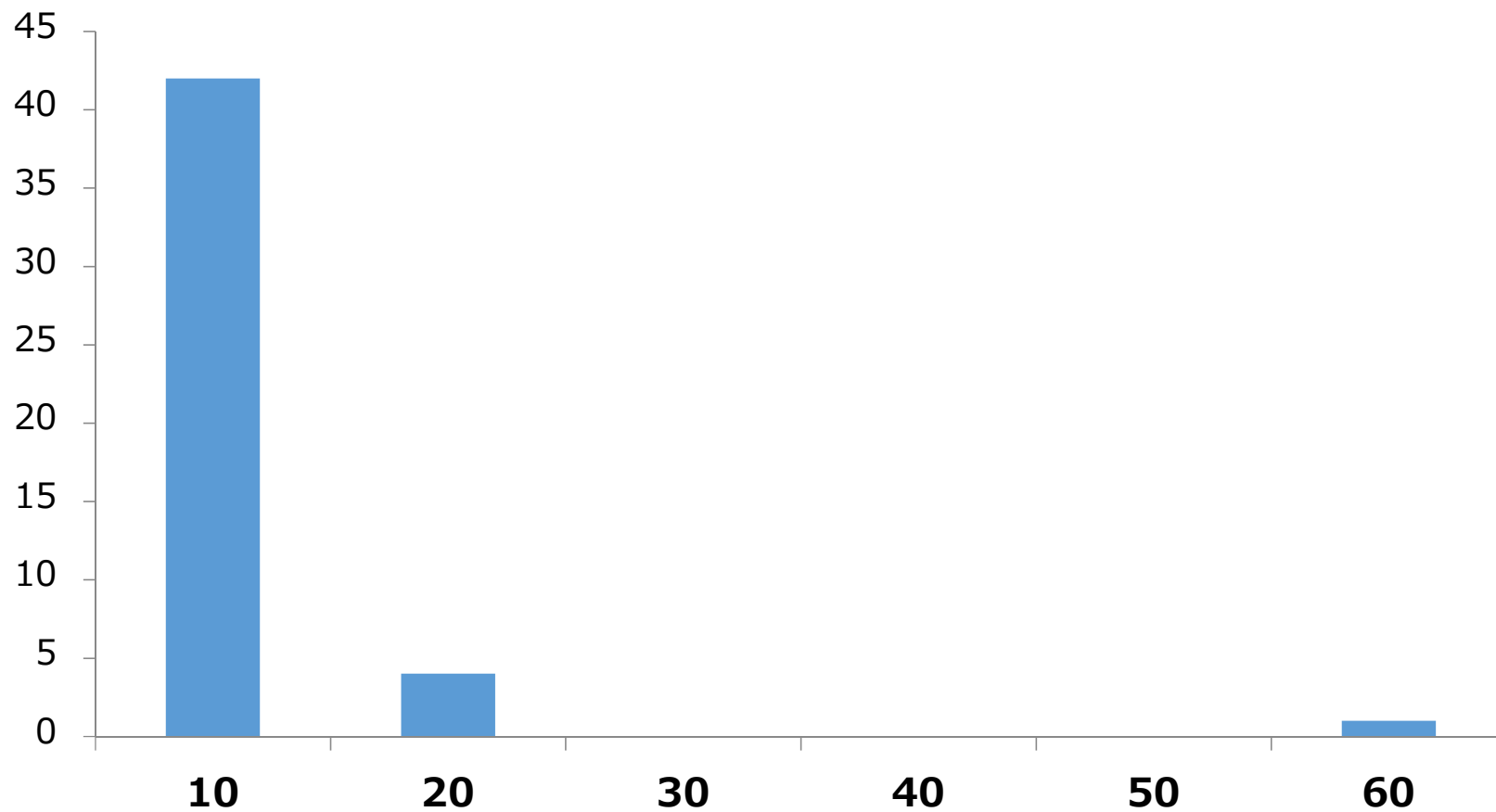
都道府県数



成人10万人当たりのコーディネーター養成人数（累積）

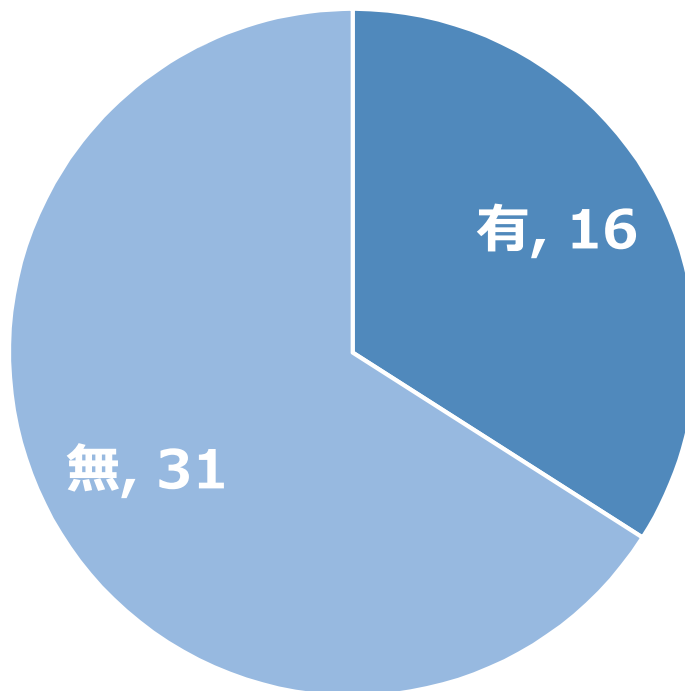
自治体施策－４ 都道府県別, 成人10万人当たりの コーディネーター養成人数（新規）

都道府県数



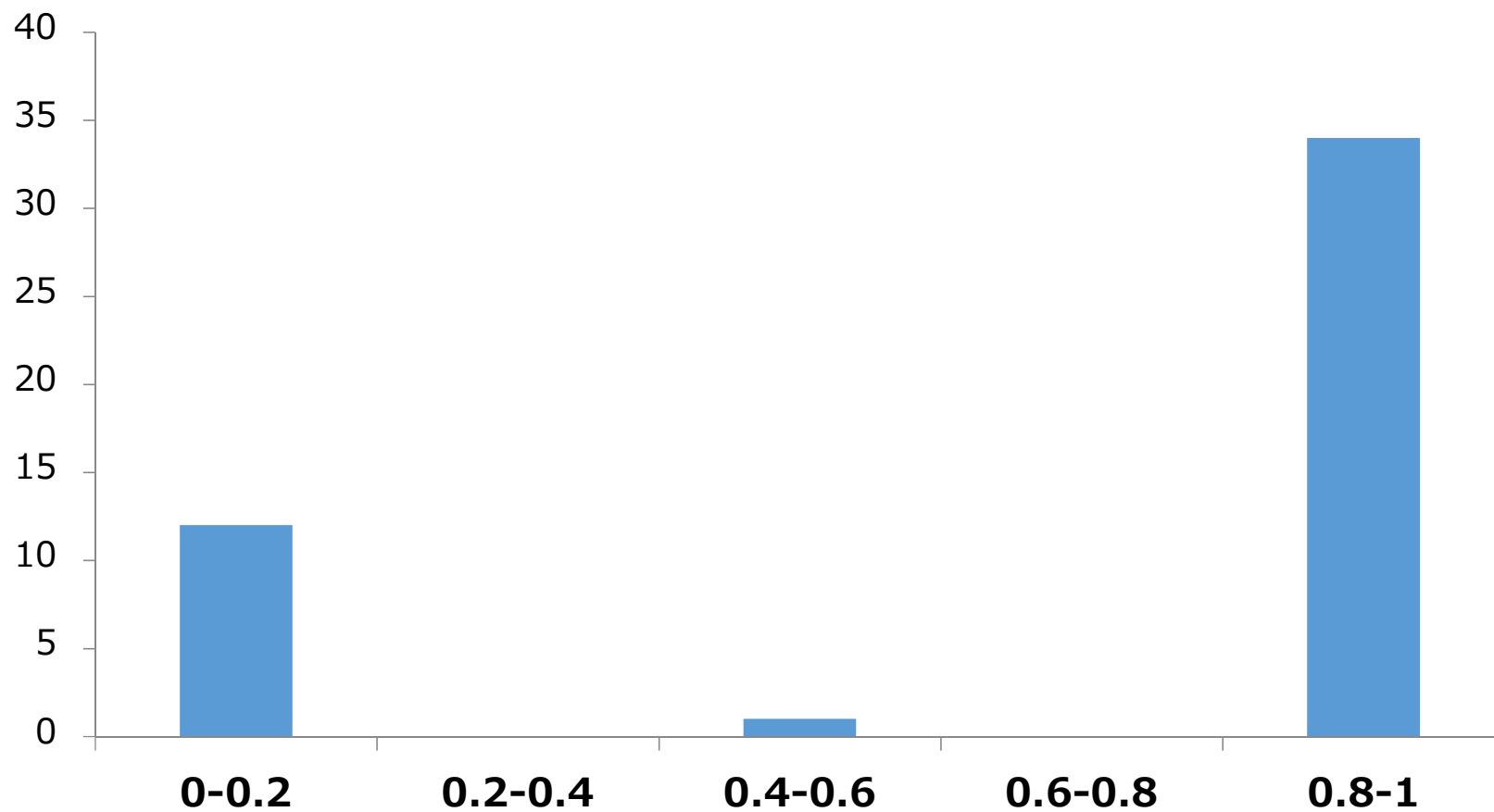
成人10万人当たりのコーディネーター養成人数（新規）

自治体施策－5 自治体が実施する コーディネーター資格更新の有無（H29）, 都道府県別



自治体施策－6 都道府県別、 コーディネーター配置状況（拠点病院）

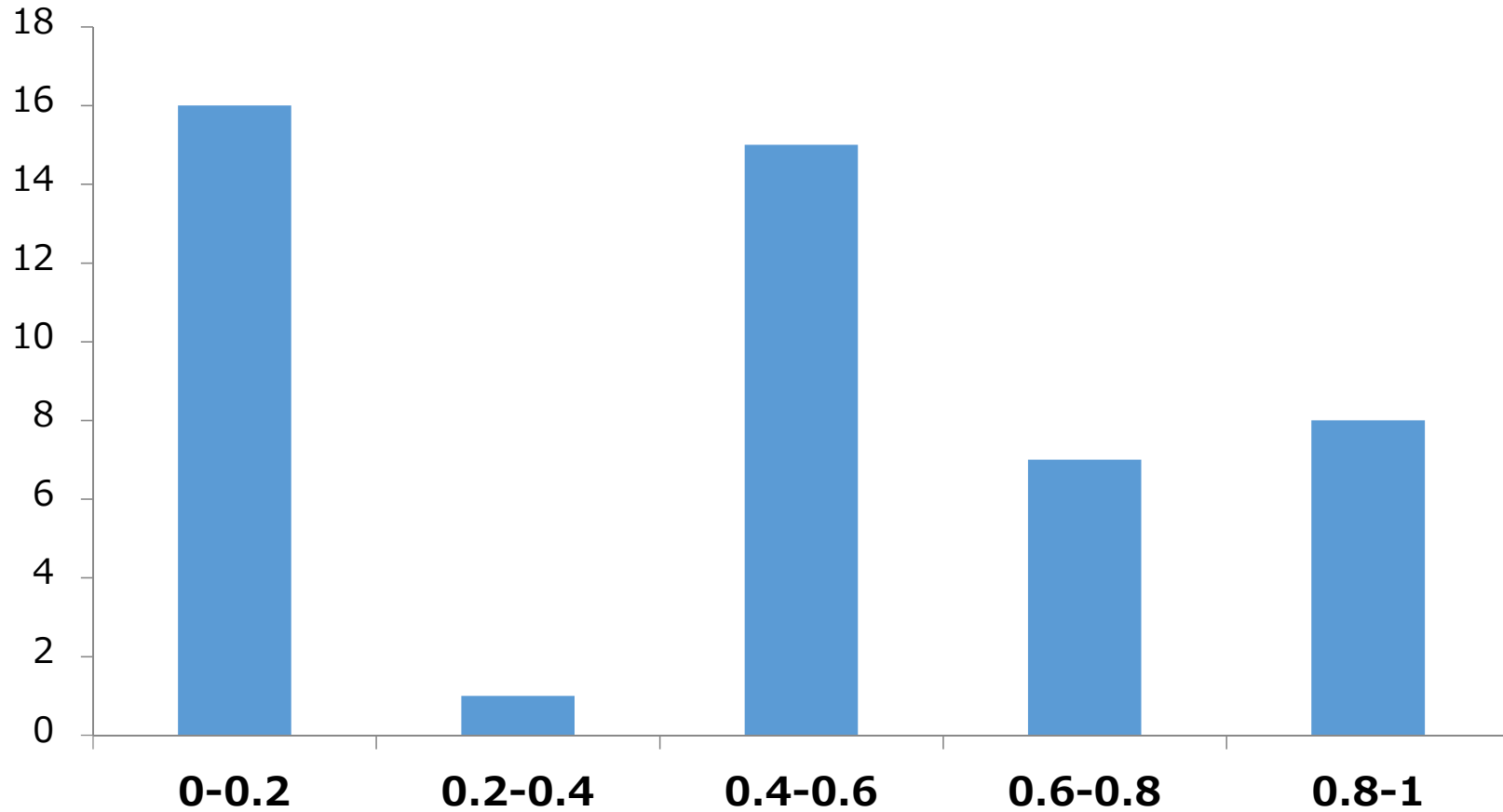
都道府県数



都道府県別：コーディネーターが配置されている拠点病院数（H29）／拠点病院数

自治体施策－7 都道府県別, コーディネーター配置状況（専門医療機関）

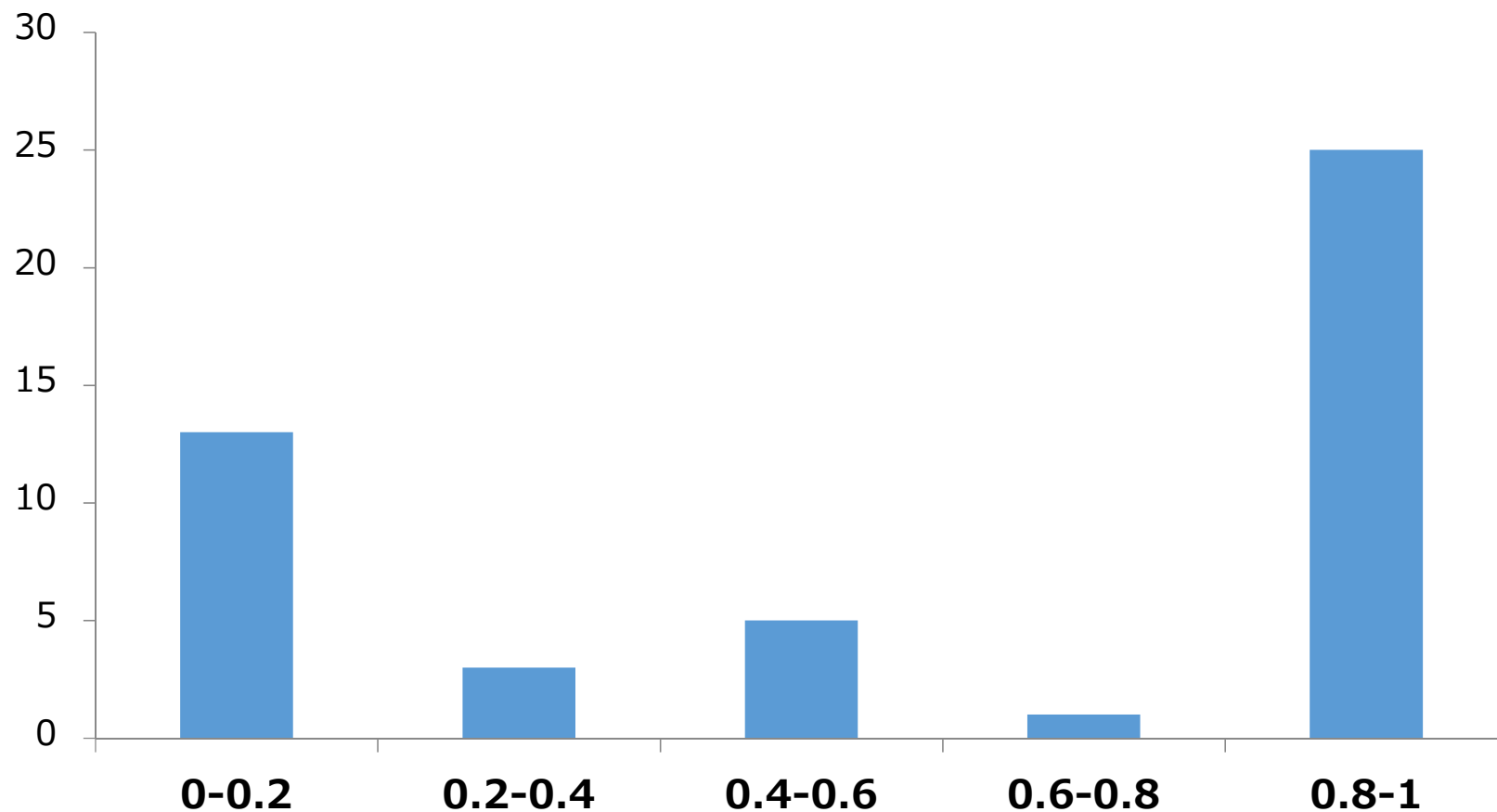
都道府県数



コーディネーターが配置されている専門医療機関数（H29）／専門医療機関数

自治体施策－8 都道府県別, コーディネーター配置状況（保健所）

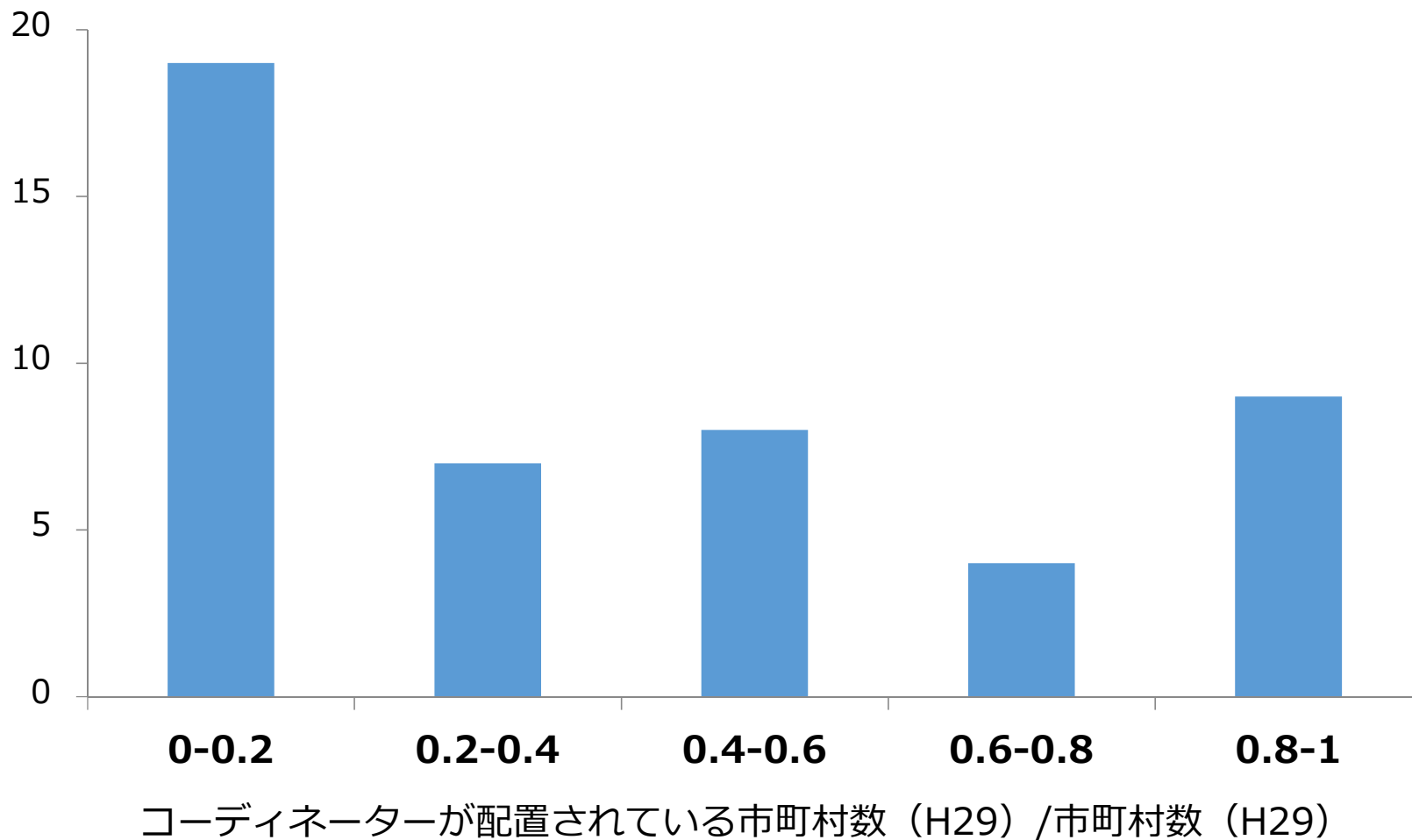
都道府県数



コーディネーターが配置されている保健所数（H29）／保健所数
（本所＋支所 ※指定都市，中核市，その他政令市，特別区は除く）

自治体施策－9 都道府県別、 コーディネーター配置状況（市町村）

都道府県数



拠点病院事業指標（拠点1～13）

H29年度作成した拠点病院事業指標（21）をH30年度運用する指標（18）に整理

重み	指標番号	項目	分子	分母	備考	
重要	拠点-1	肝疾患相談支援センターHP開設	有り=1, なし=0	定数=1		相談支援 業務
重要	拠点-2	肝疾患相談支援センターの設置	有り=1, なし=0	定数=1		
重要	拠点-3	相談件数（総数）	相談件数	定数=1		
重要	拠点-4	相談支援に係る自治体との連携	有り=1, なし=0	定数=1		
重み	指標番号	項目	分子	分母	備考	
標準	拠点-5	肝臓病教室の実施回数	実施回数	定数=1	家族支援と肝臓病教室同時開催の場合は評価を1/2にする	患者家族 向け講座
標準	拠点-6	家族支援講座の実施回数	実施回数	定数=1	家族支援と肝臓病教室同時開催の場合は評価を1/2にする	
参考	拠点-7	就労支援事業実施	有り=1, なし=0	定数=1		就労支援
重要	拠点-8	連絡協議会実施回数	実施回数	定数=1		研修事業 (医療従事者 向け)
重要	拠点-9	肝炎専門医療従事者研修会実施	実施回数	定数=1		
標準	拠点-10	肝炎専門医療従事者研修会開催時の自治体等との連携	有り=1, なし=0	定数=1	連携：研修会の企画、運営、広報等を自治体と連携して行なっている。	
重要	拠点-11	一般医療従事者研修会実施	実施回数	定数=1		
標準	拠点-12	一般医療従事者研修会開催時の自治体等との連携	あり=1、なし=0	定数=1	連携：研修会の企画、運営、広報等を自治体と連携して行なっている。	
重要	拠点-13	市民公開講座実施	実施回数	定数=1		市民向け 講座 33

拠点病院事業指標（拠点14～18）

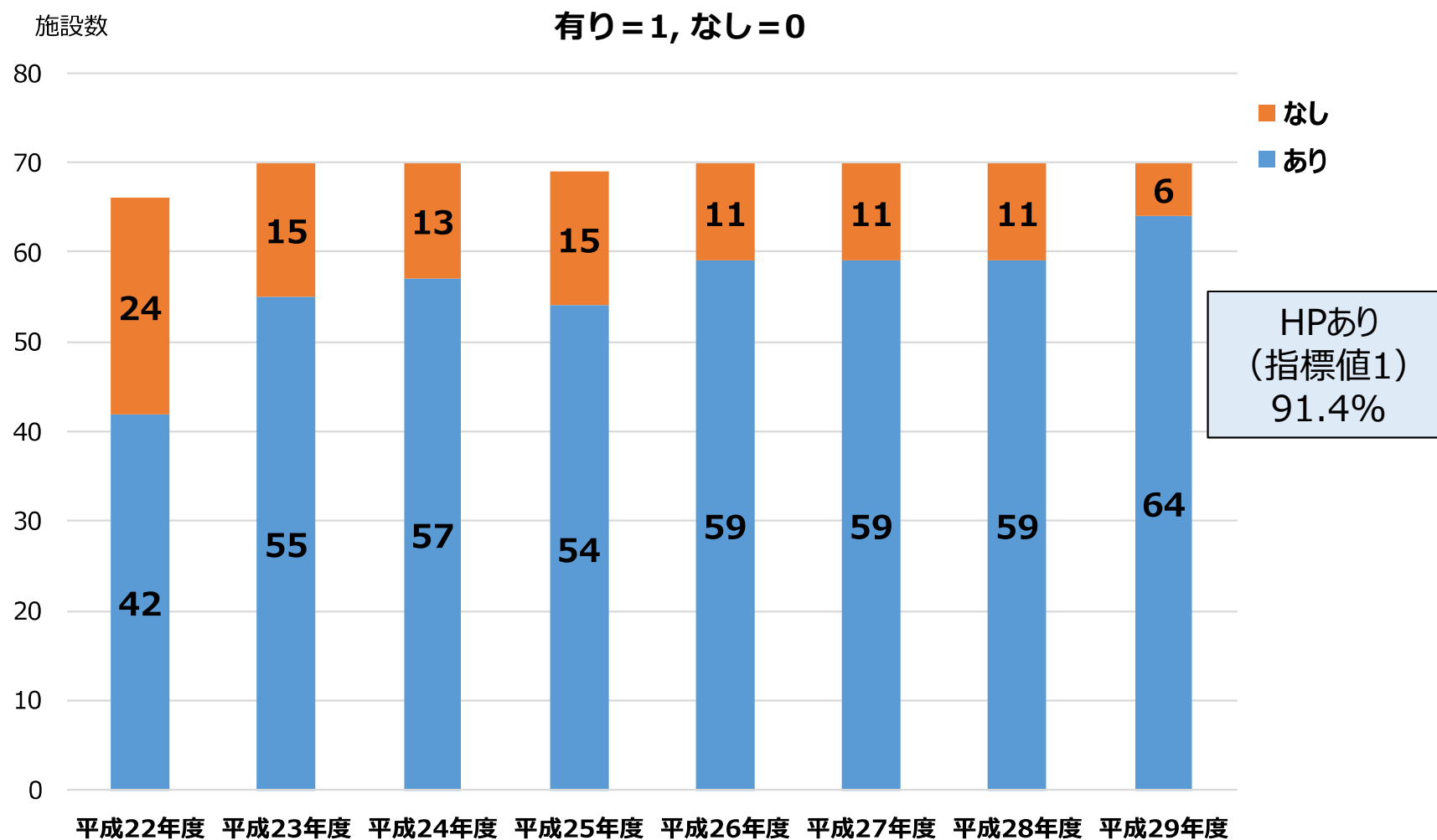
重み	指標番号	項目	分子	分母	備考
参考	拠点-14	地域診療連携バス運用	地域診療連携バス発行数	定数 = 1	バスの運用対象は肝疾患の病因を問わない
標準	拠点-15	肝炎情報C実施の拠点病院連絡協議会参加	参加回数	年間実施回数	
標準	拠点-16	肝炎情報C実施の責任者向け研修会参加	参加回数	年間実施回数	
標準	拠点-17	肝炎情報C実施の看護師・相談員研修会参加	参加回数	年間実施回数	
重要	拠点-18	複数の拠点病院がある場合の連携有無	有り=1, なし=0	定数 = 1	「連携」とは協議会、市民公開講座等の共催等

その他

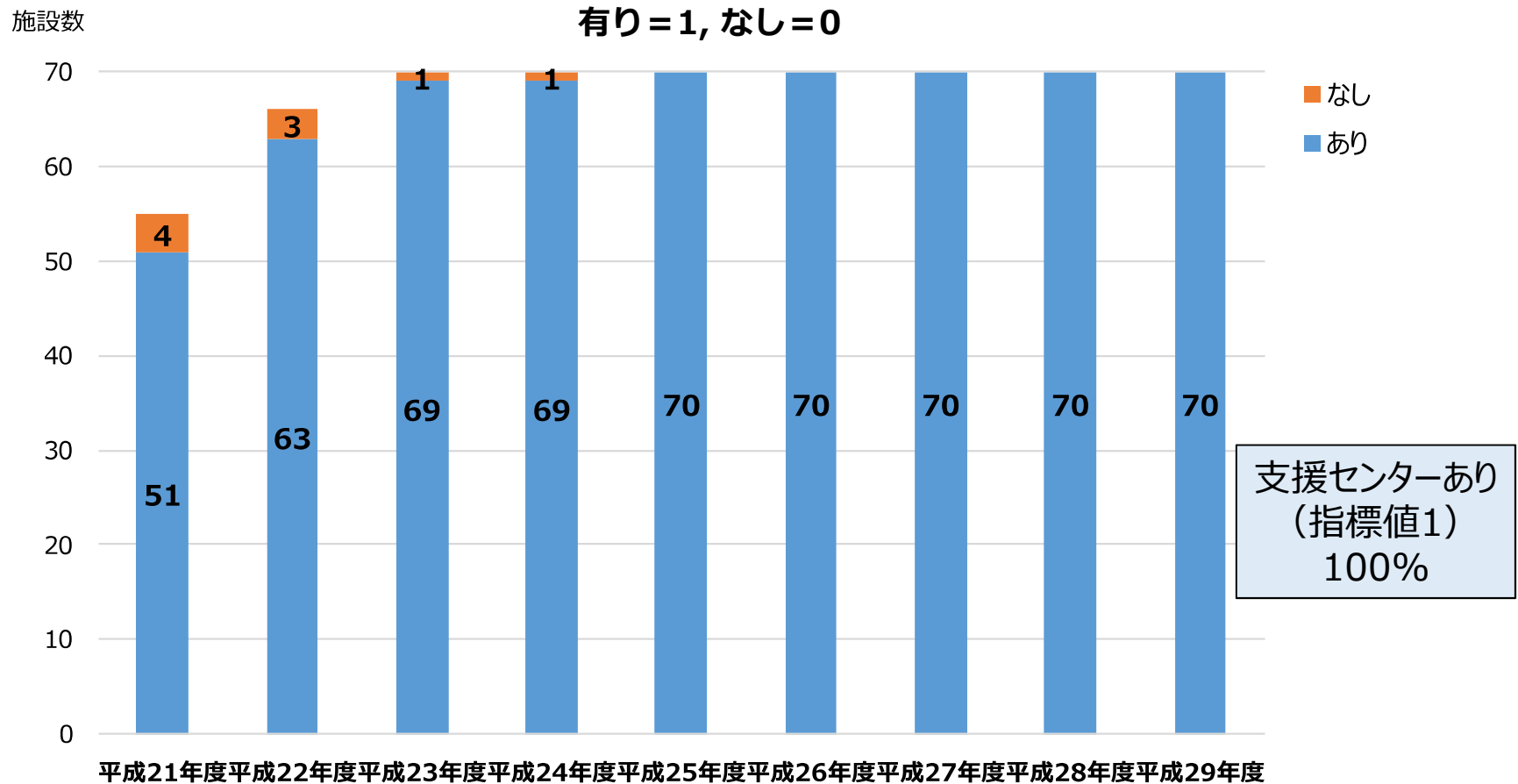
H29作成拠点病院事業指標からH30運用指標への整理の原則（21指標から18指標へ）

- 肝炎専門医療従事者研修会の参加者数, 一般医療従事者研修会, 市民公開講座の参加者数を用いた指標は削除（参加人数が必ずしも内容の評価に結びつかないため）
- 新規に追加した指標はなし

拠点-1 肝疾患相談支援センターHP開設



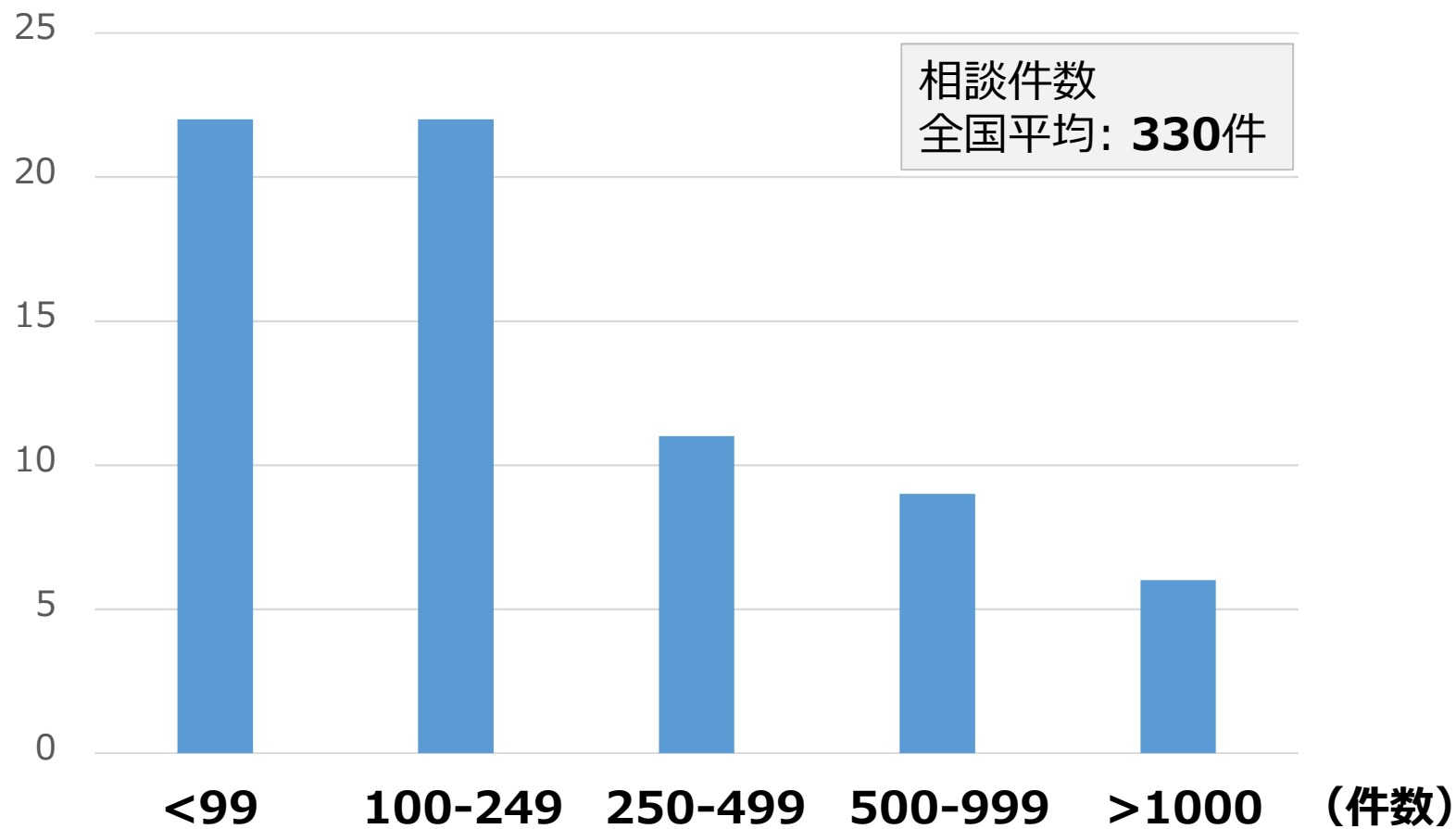
拠点-2 肝疾患相談支援センターの設置



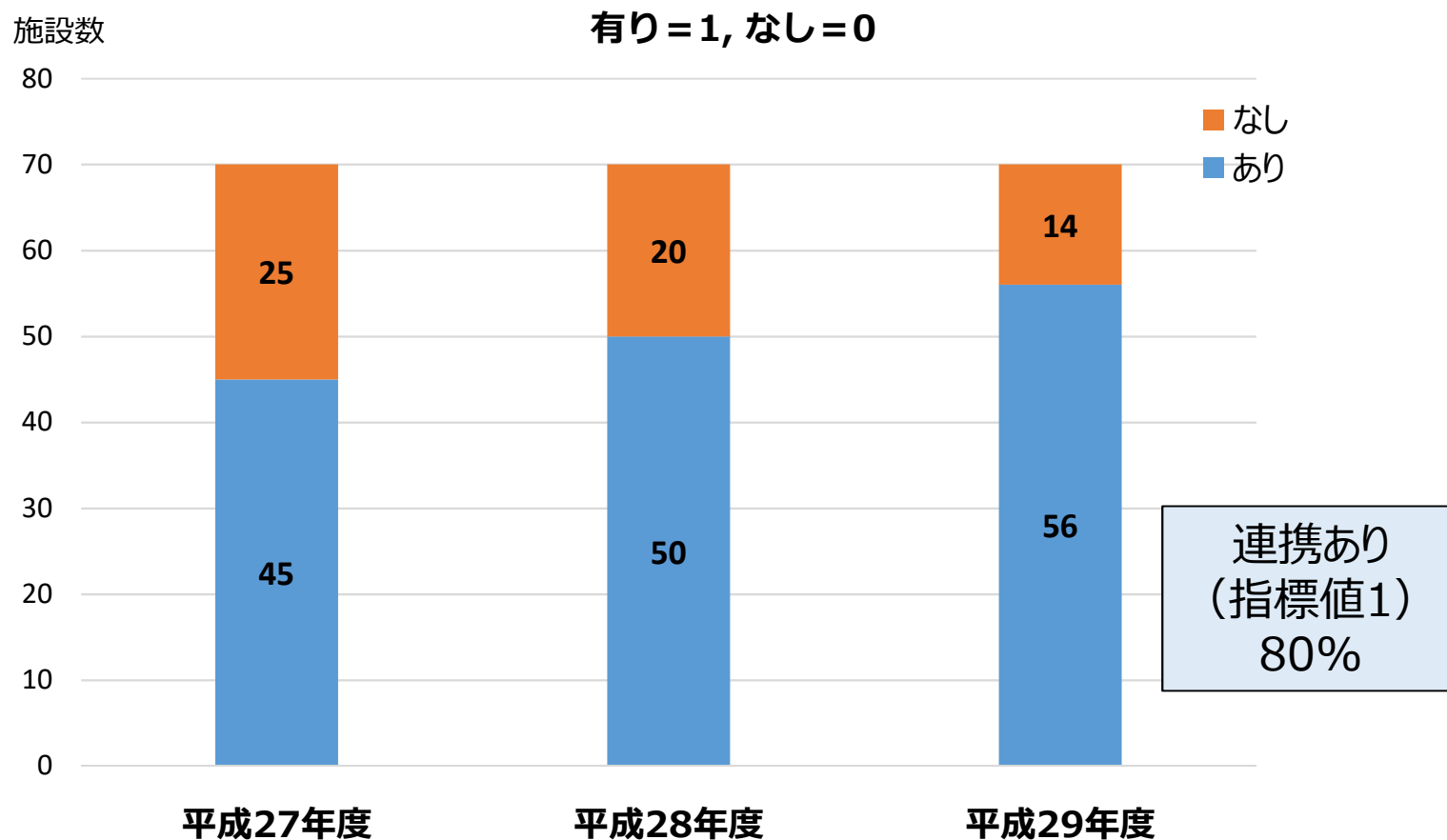
拠点-3 相談件数（総数）

拠点病院数

相談件数/定数 = 1



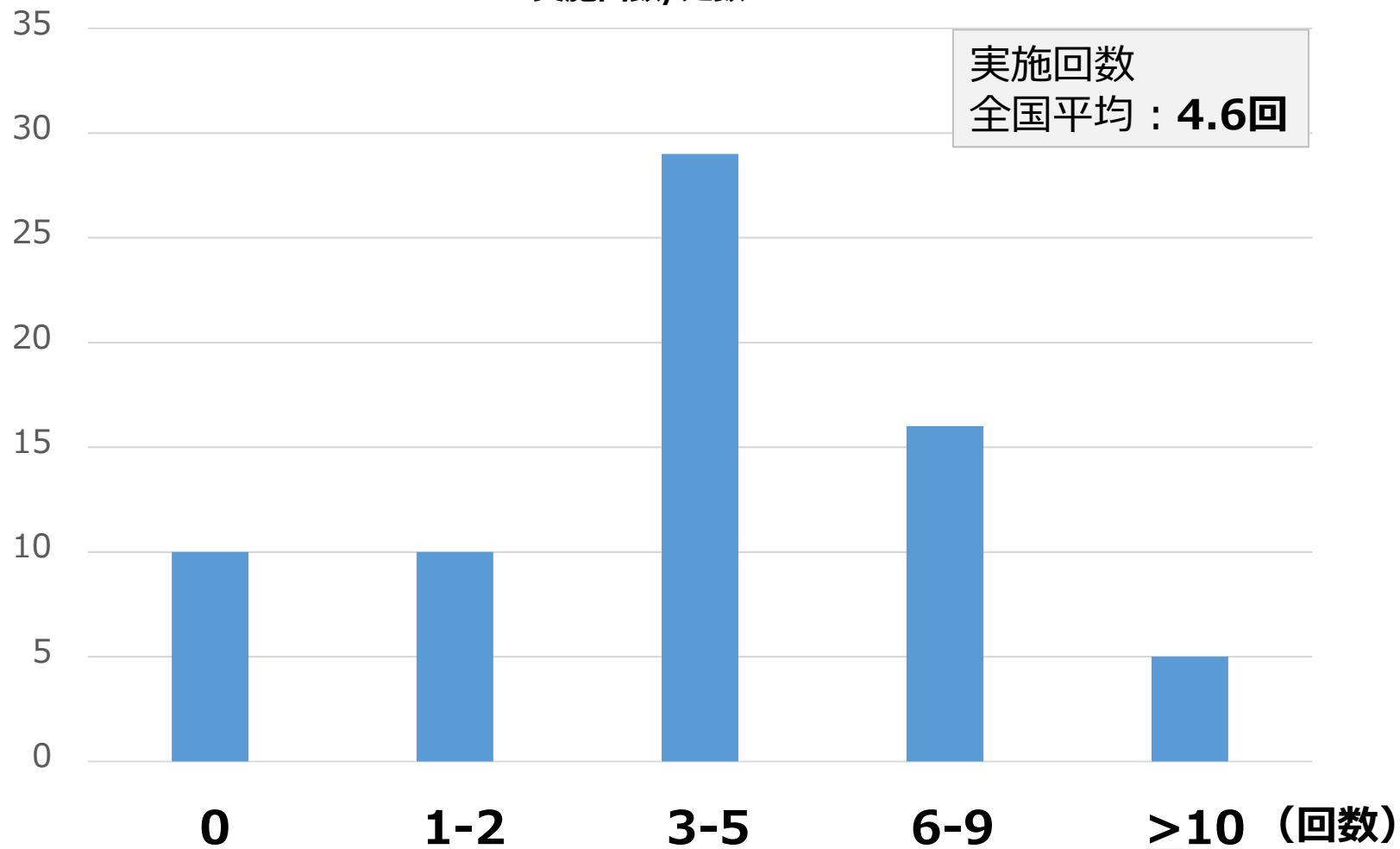
拠点－４ 相談支援に係る自治体との連携



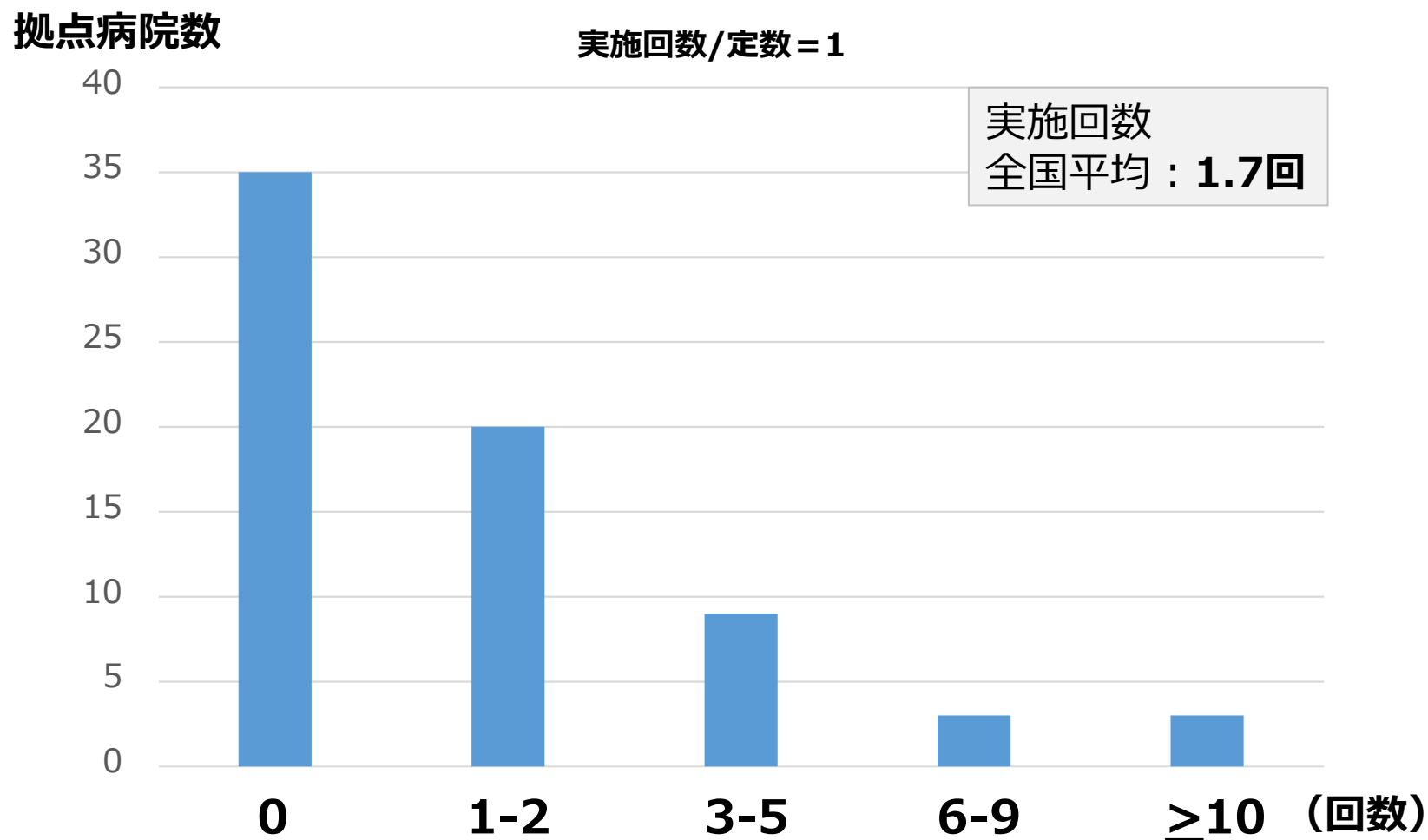
拠点-5 肝臓病教室の実施回数

拠点病院数

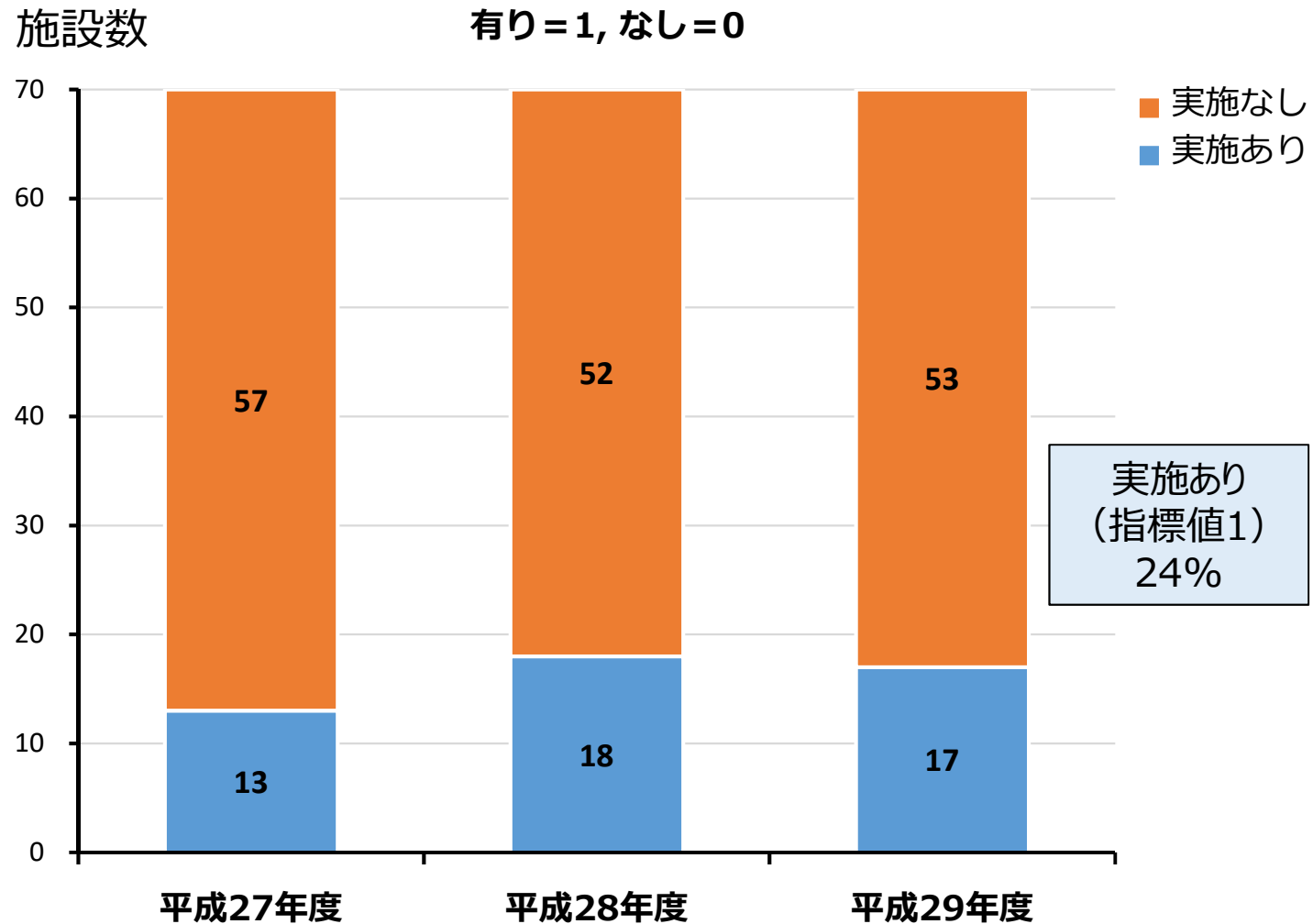
実施回数/定数 = 1



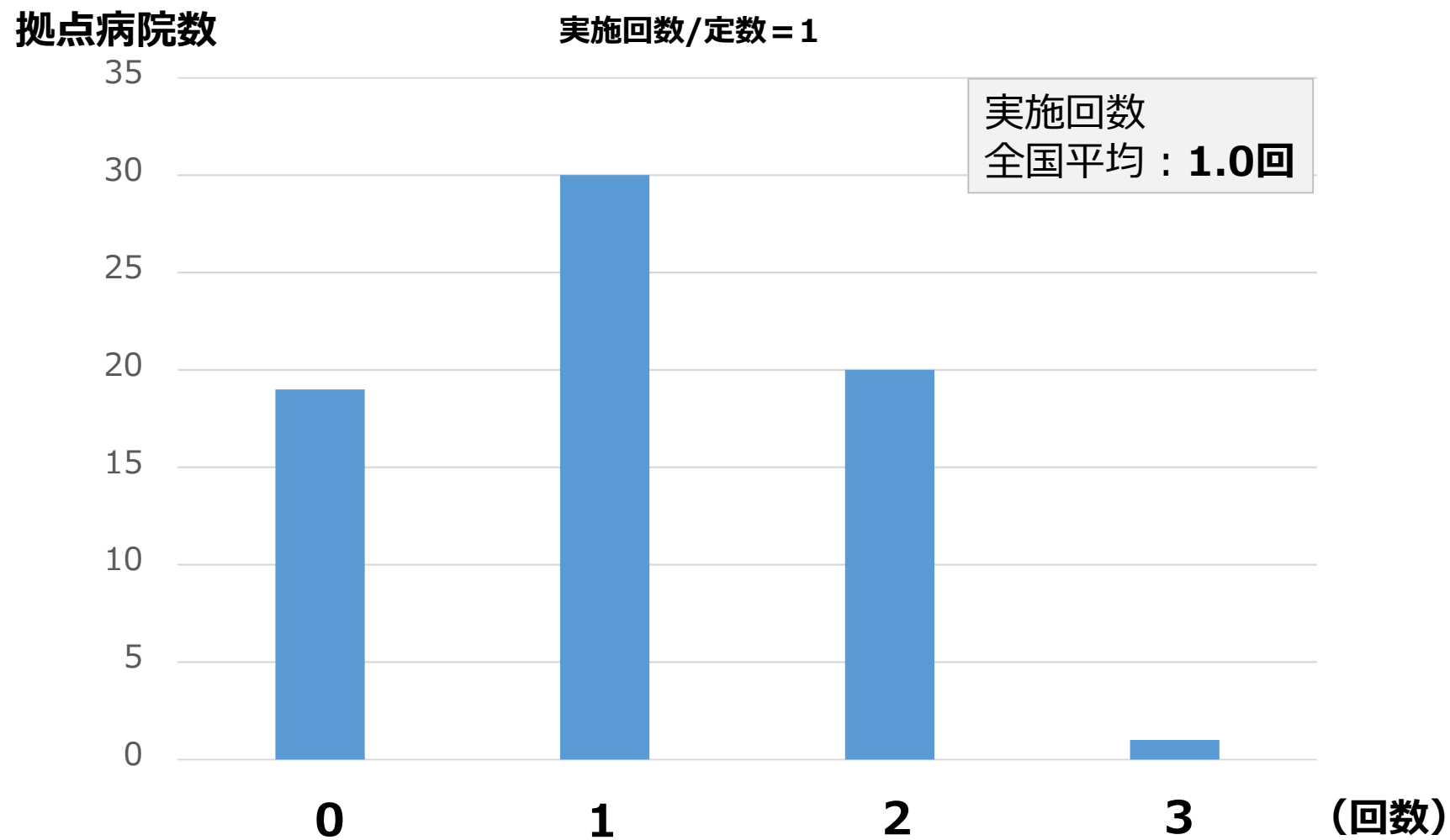
拠点－6：家族支援講座の実施回数



拠点－7 就労支援講座の実施回数



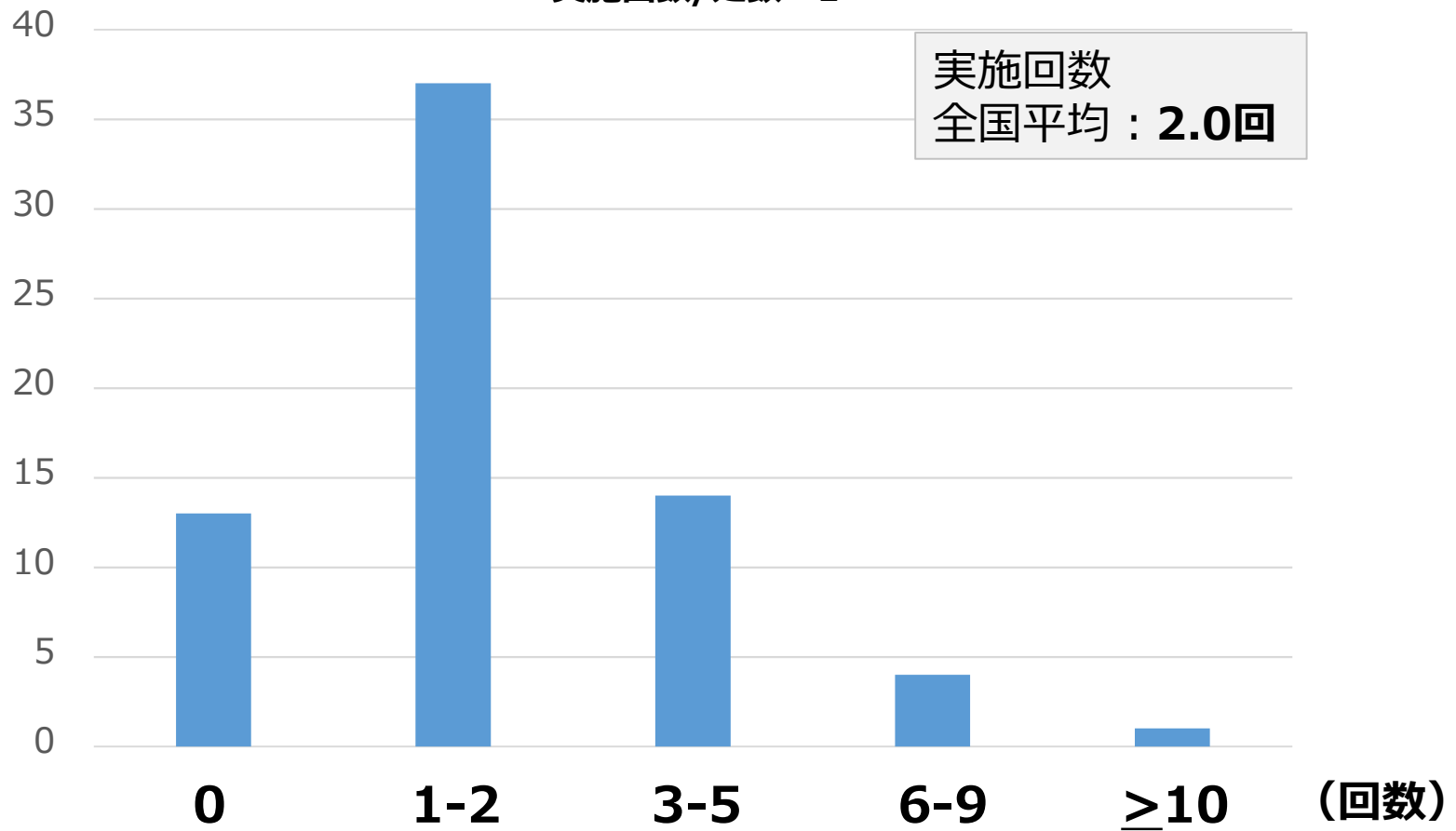
拠点-8 連絡協議会実施回数



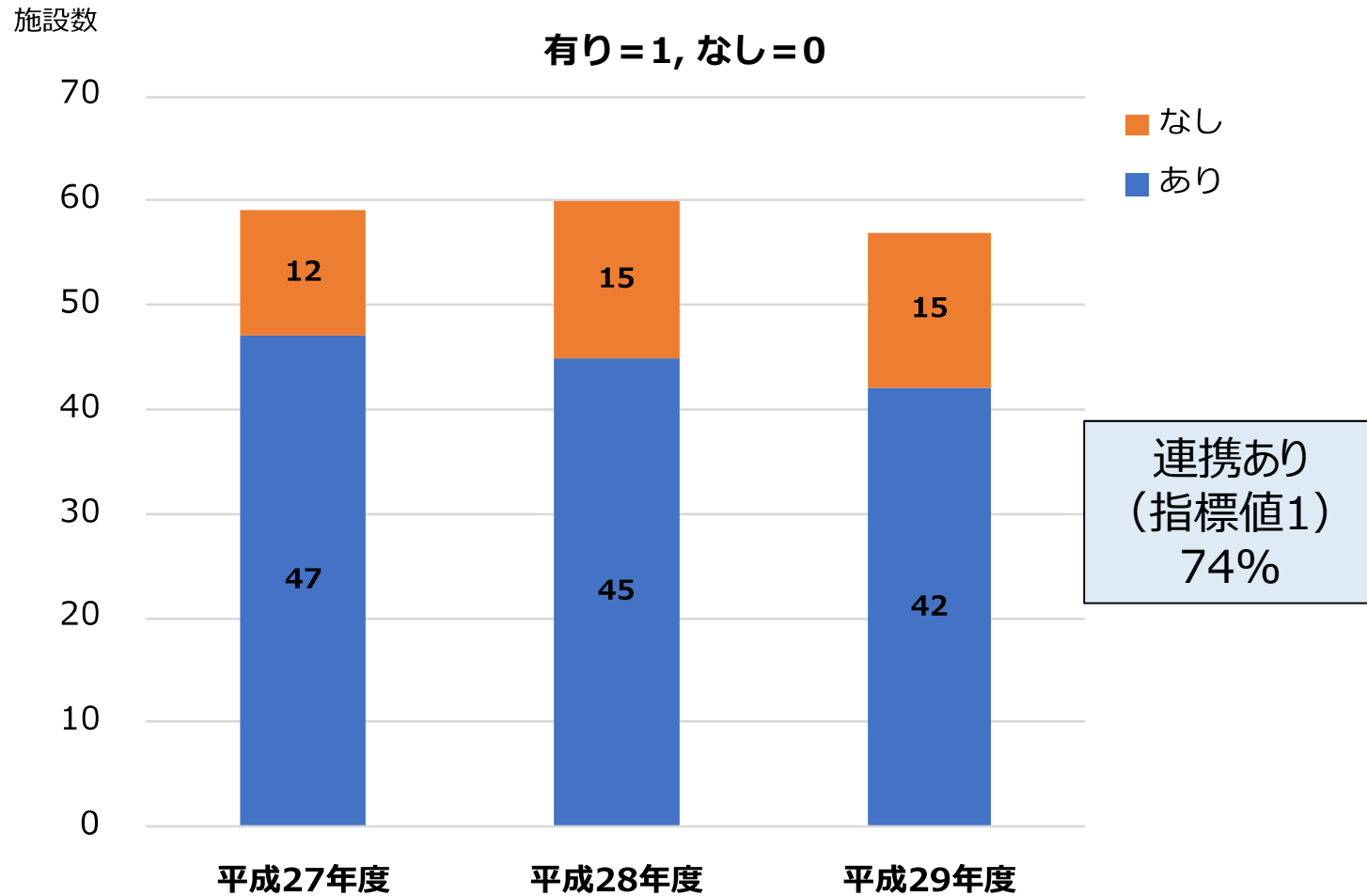
拠点-9 肝炎専門医療従事者研修会実施

拠点病院数

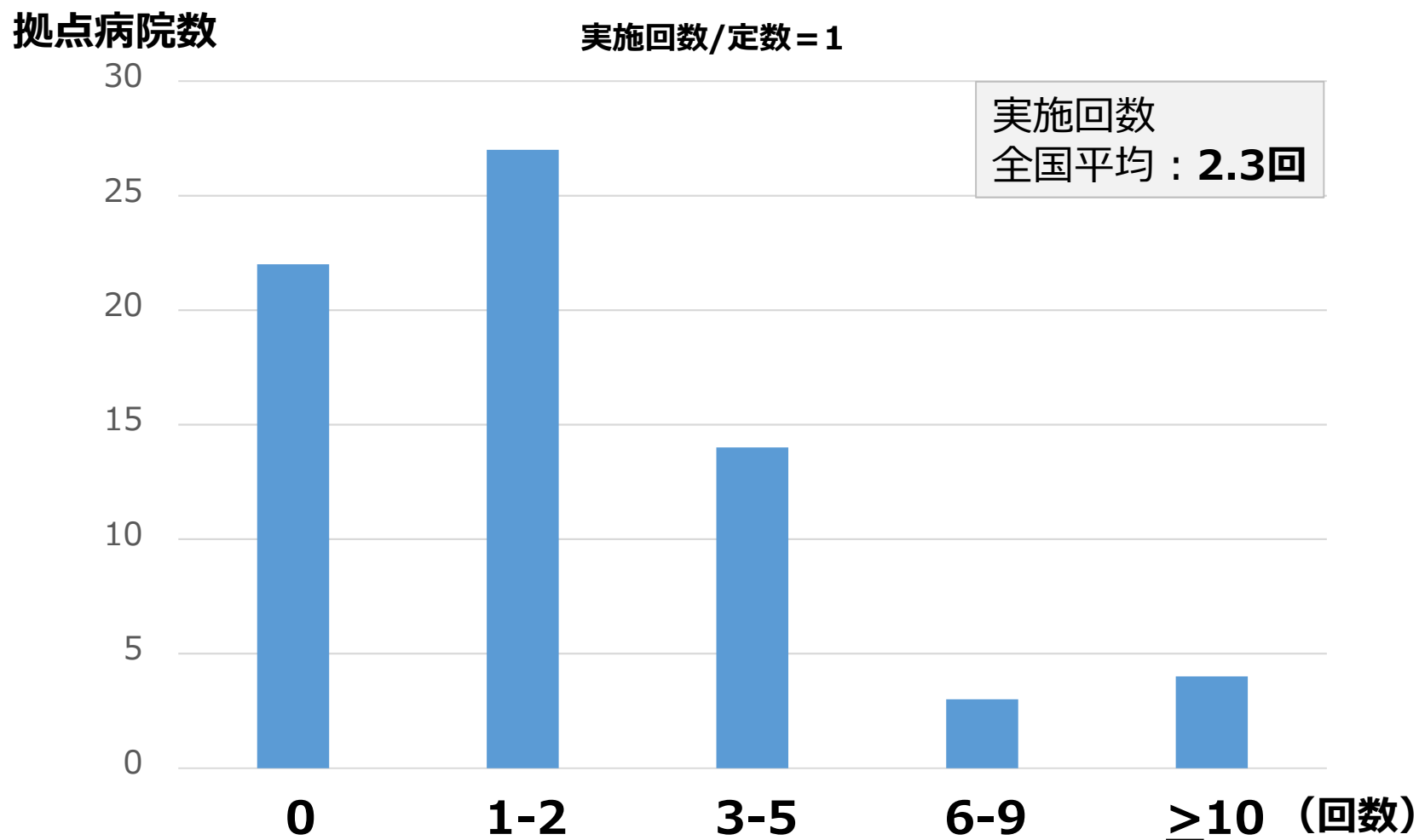
実施回数/定数 = 1



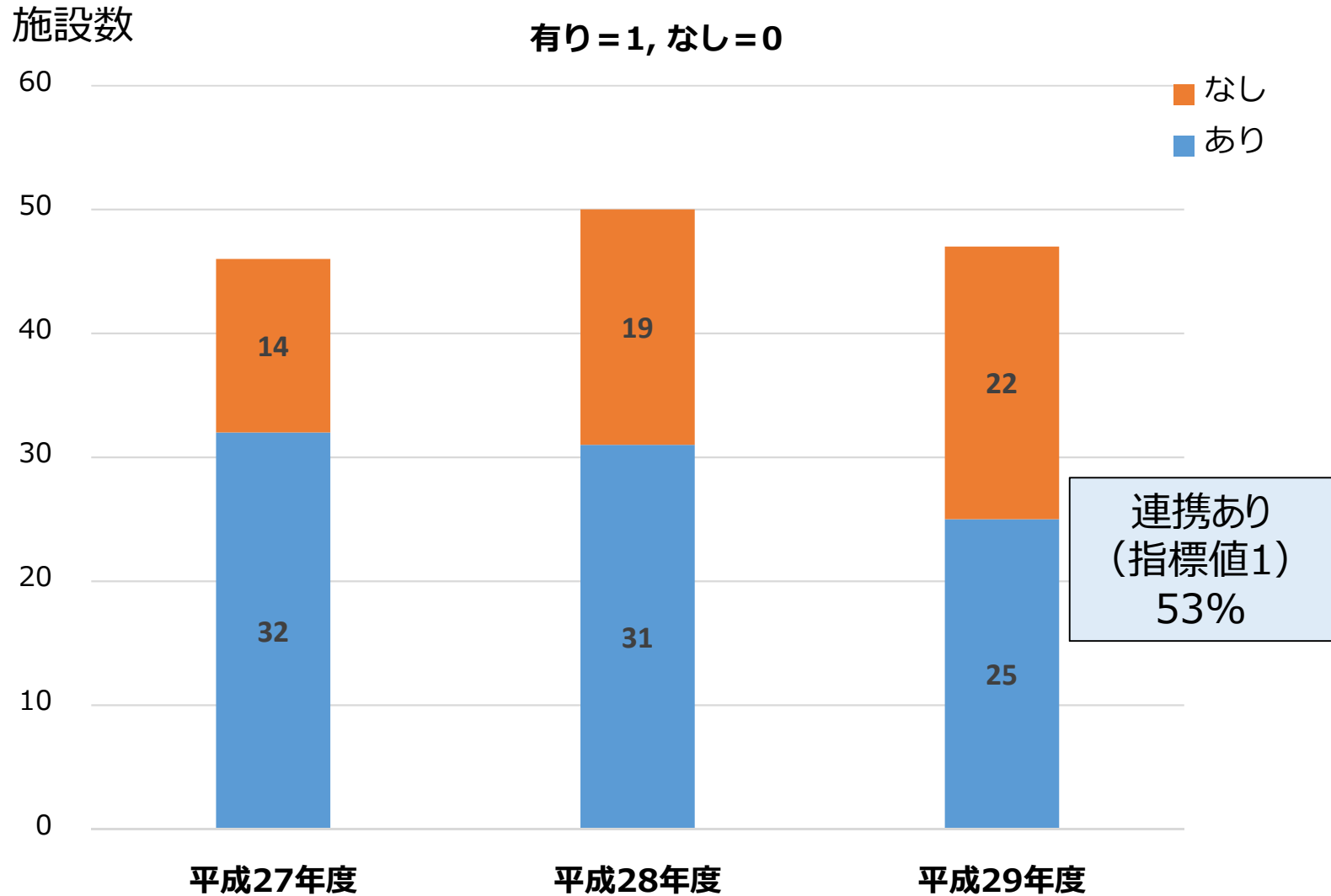
拠点-10：肝炎専門医療従事者研修会開催時の自治体等との連携



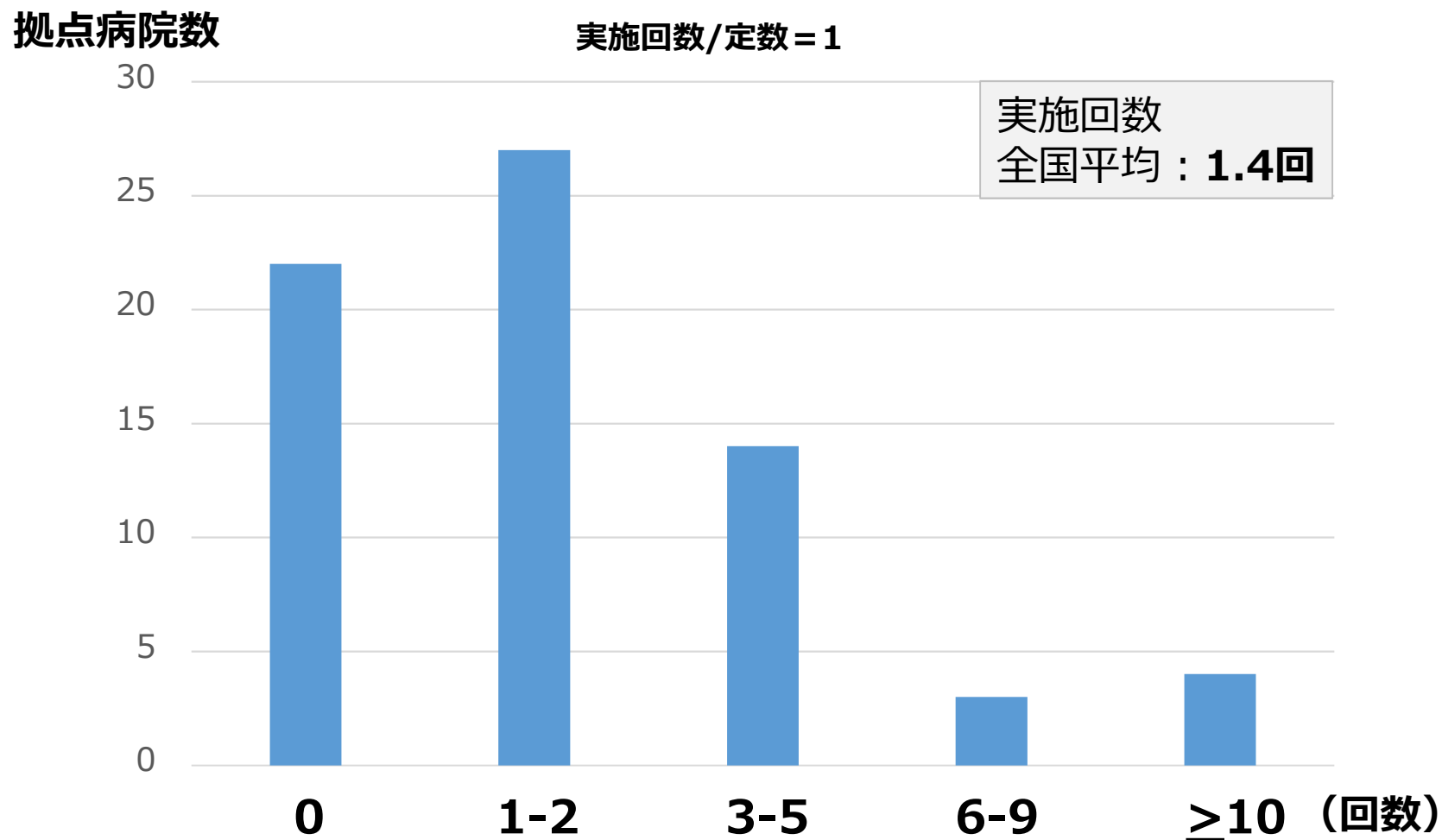
拠点-11 一般医療従事者研修会実施



拠点-12 一般医療従事者研修会開催時の 自治体等との連携



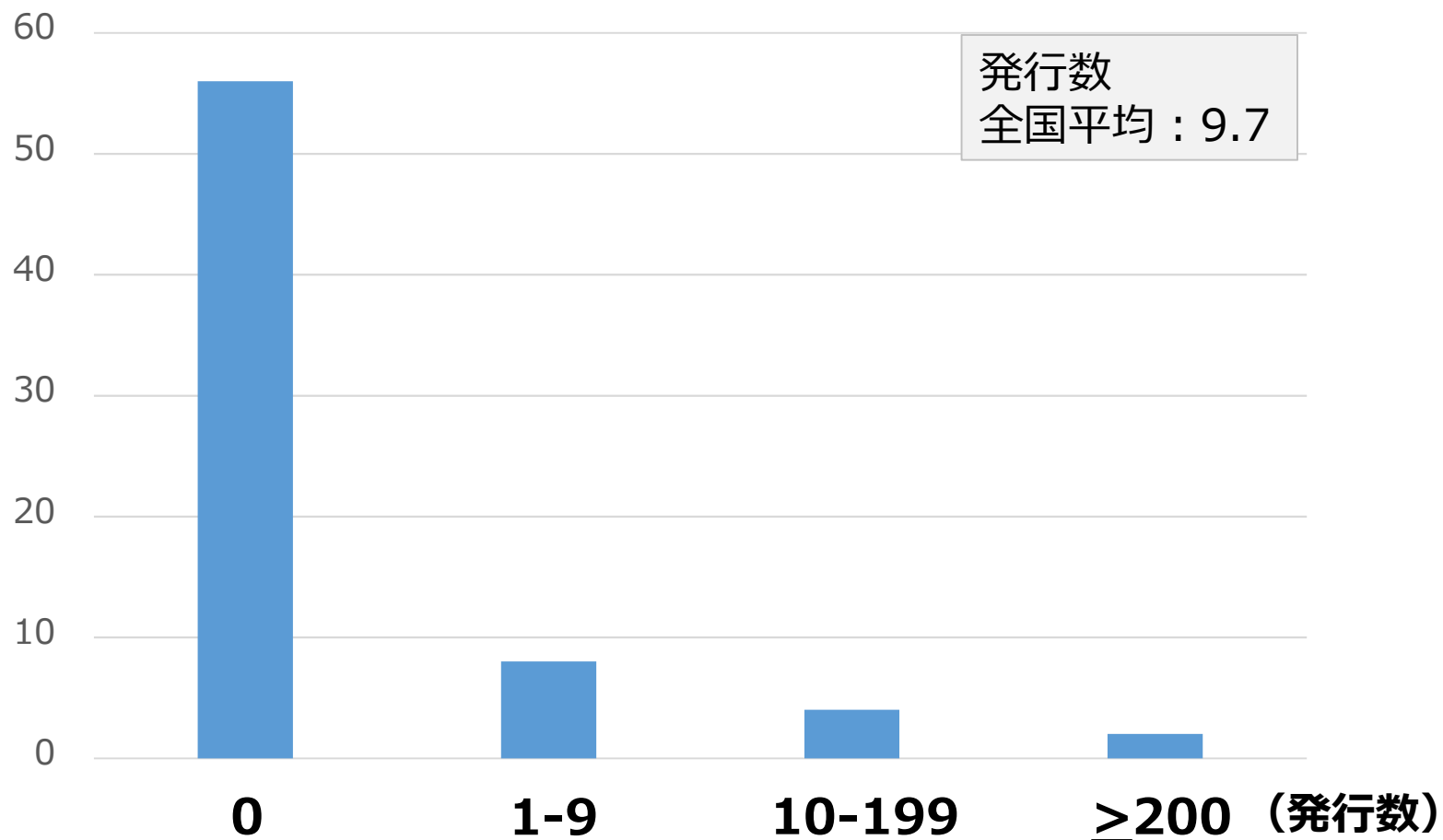
拠点-13 市民公開講座実施



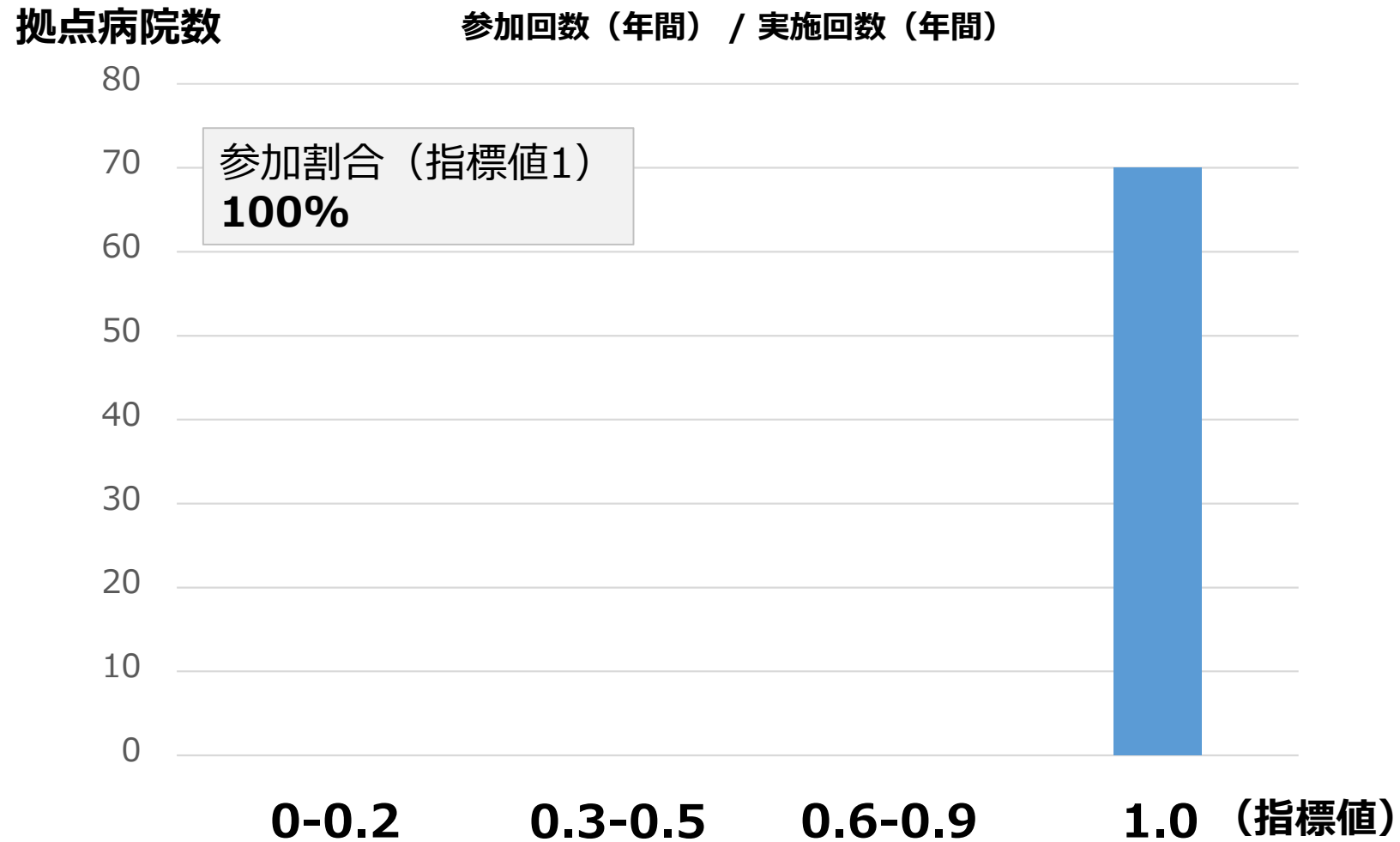
拠点-14 地域診療連携パスの運用

拠点病院数

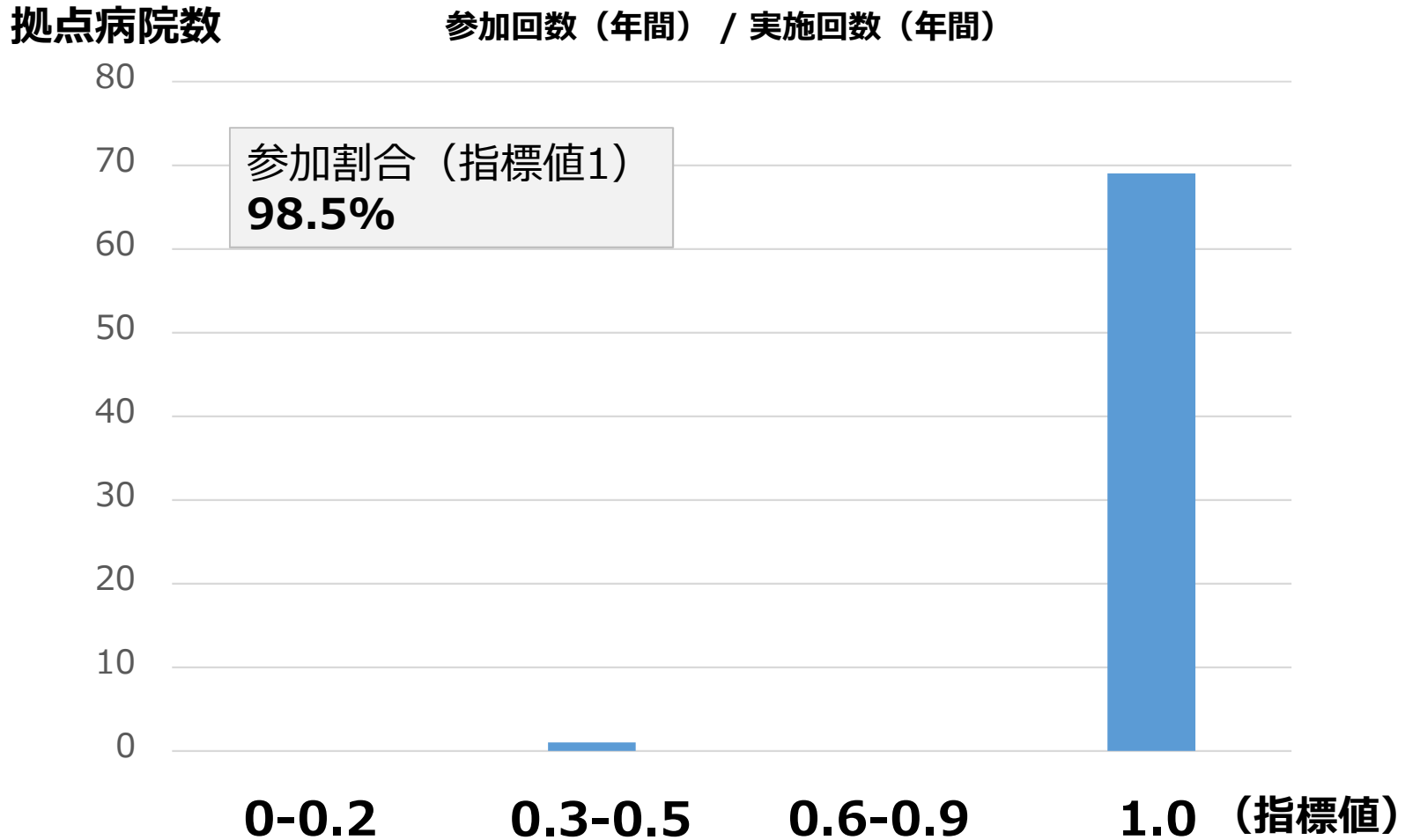
地域診療連携パス発行数 / 定数=1



拠点-15 肝炎情報センター実施の拠点病院間 連絡協議会への参加



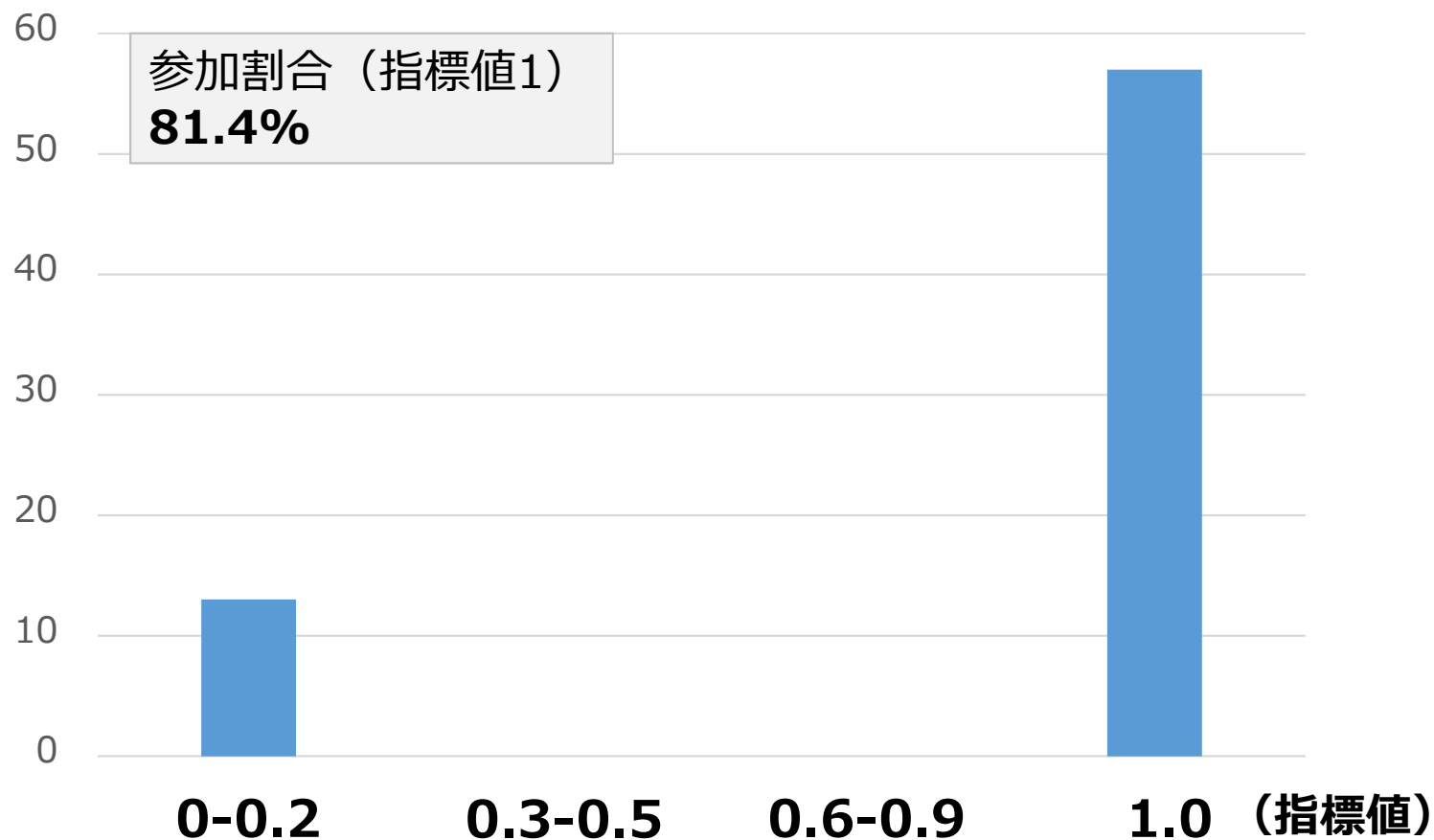
拠点-16 肝炎情報センター実施の拠点病院 責任者向け研修会への参加



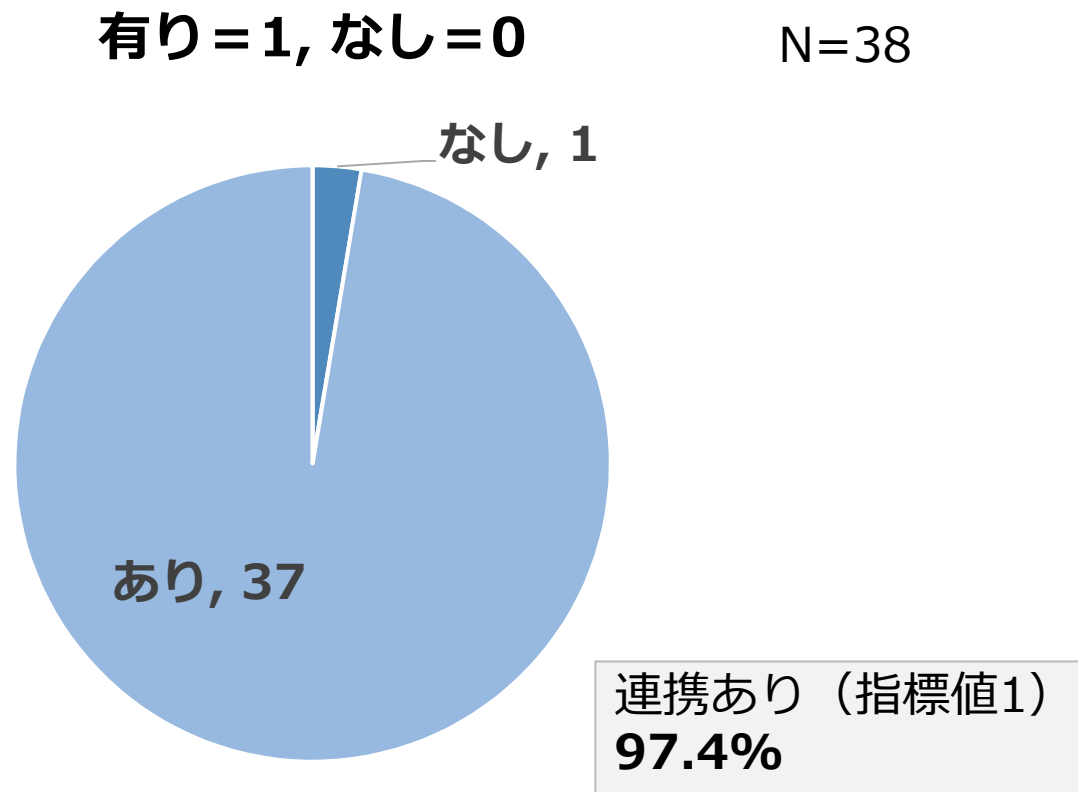
拠点-17 肝炎情報センター実施の看護師・ 相談員向け研修会への参加

拠点病院数

参加回数（年間） / 実施回数（年間）



拠点-18 複数の拠点病院がある場合の連携の有無



自治体事業指標, 拠点病院事業指標の運用に向けて

- H29年度自治体事業指標（26指標）をH29年度自治体事業調査結果（肝炎対策推進室実施）から評価・整理し、H30年度自治体事業指標（**19指標**）を作成した。
- H29年度拠点病院事業指標（21指標）をH29年度拠点病院現状調査結果（肝炎情報センター実施）から評価・整理し、H30年度自治体事業指標（**18指標**）を作成した。
- 自治体事業指標, 拠点病院事業指標, 肝炎医療指標を継続運用していくことによって, 各事業における実施主体の実施状況が明確になり, 総合的な肝炎対策の推進が期待される。